

2 0 1 3 年 度

図 書 館 業 務 報 告



# 目 次

はじめに	3
I 概況	4
1 2013年度の図書館業務	4
(1) 図書館業務の概況	4
(2) 総務課業務報告	7
(3) 整理課業務報告	9
(4) 運用課業務報告	10
(5) 図書選定委員会報告	12
(6) 広報委員会報告	13
(7) 書庫問題検討委員会報告	15
(8) システム委員会報告	16
(9) 資料保存修復委員会報告	17
(10) スチューデントアシスタントワーキンググループ報告	17
(11) 情報リテラシー教育ワーキンググループ報告	18
(12) アクティブラーニング実施委員会報告	19
2 図書館職員の研修	21
3 図書館相互利用	22
(1) 五大学図書館懇談会	22
(2) 世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会	23
(3) 四大学図書館相互利用実績	24
(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績	25
II 2013年度の委員会報告	27
1 図書館委員会報告	27
2 運営会報告	28
3 3号館雑誌室・書庫運営委員会報告	38
III 2013年度の図書館年次統計	39
1 現況	39
(1) 利用状況	39
(2) 所蔵資料数	39
(3) 電子情報資源種類数	40
(4) リポジトリ登録件数	40
(5) 雑誌所蔵種類数	40
(6) 継続受入雑誌種類数	40
(7) AV・マイクロ累積タイトル数	40
2 受入報告	41
(1) 図書受入報告	41
(2) 雑誌受入報告	41
(3) AV・マイクロ受入報告	42

(4) 学習図書年度別受入一覧	4 3
3 整理業務統計	4 4
(1) 図書整理冊数	4 4
(2) 修士論文整理冊数	4 4
(3) 博士論文整理冊数	4 4
(4) N I I 登録件数	4 4
(5) A V ・ マイクロ点数	4 4
4 運用業務統計	4 5
(1) 入館者統計	4 5
(2) 月別図書貸出統計	4 6
(3) 分野別図書貸出統計	4 7
(4) ベストリーダー	4 8
(5) 閉架書庫内図書月別利用統計	4 9
(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計	4 9
(7) 貸倉庫預入資料利用統計	5 0
(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳	5 0
(9) 研究室別貸出図書統計	5 1
(10) 研究室別貸出雑誌統計	5 2
(11) 施設利用統計	5 3
(12) 貴重書室利用統計	5 3
(13) 3号館雑誌室・書庫利用統計	5 4
(14) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計	5 5
5 参考業務統計	5 6
図書館間相互協力	5 6
6 A V 資料等運用業務統計	5 7
(1) A V マイクロ資料利用統計	5 7
(2) A V ホール利用統計	5 8
(3) A V ゾーン利用者別統計	5 8
(4) マイクロ資料利用者別統計	5 8
(5) 保守点検等	5 8
7 図書館機械化の経緯と現状	5 9
(1) システム導入の経緯	5 9
(2) 現状	6 0
8 図書館施設概要	6 1
IV 組織	6 2
1 組織図	6 2
2 図書館職員一覧	6 3
V トピック	6 4
アクティブラーニング施設の新設	6 4
歴代図書館長	6 9
略史	6 9

## はじめに

図書館長 木畑洋一

2013年度の成城大学図書館についてまず特記すべきは、夏季休暇期間中の改修工事を経て秋から使用を開始したアクティブラーニングエリアの開設である。近年大学教育では、教員による講義を受動的に聞くことを中心にする授業方式にかえて、学生自身が主体的に授業を作り上げていくアクティブラーニング方式が重視されてきており、そのための環境提供が急務となっている。今回の改修によって作られた部屋は、そうした能動的学習のための場であり、自由に組み合わせを変えられる勾玉形の机や、プレゼンテーションにも使える大型ディスプレイを備えている。同時に、従来からもあった図書館地下1階のグループ学習室を改修して、グループワークがより効率的にできるようにするとともに、2階・3階の共同研究室をプレゼンテーションルームとして改装した。また3号館の雑誌室も一部をアクティブラーニング用のスペースとして改装し、開室時間を延長した。さらに、メディアネットワークセンターの協力をえて、学習のために使える貸出用PCも増やし、20台用のPC自動貸出機を設置した。

こうした改修によって、学生の自主的・能動的学習のためのハード面の条件は、大幅に改善した。静謐な環境のなかで本を読むという図書館本来の機能はあくまでも維持しつつ、積極的な学びの場としての機能を強めていくための条件は一応整ったわけであるが、その条件を十分に生かしていくことは、これからの大きな課題となっている。

また2013年度には、図書館活用法という授業が開始された。これは、図書館長の担当科目として共通教育科目の中に設置されたもので、館長の他、図書館職員が分担してオムニバス講義を行い、図書館での実習も交えて、受講生に図書館の利用と各種データベースの使用に習熟してもらうことを、目的としている。初の試みということで、試行錯誤の状態ではあったが、学生は熱心に受講し、授業評価に際してはきわめて高い評価が寄せられる結果となった。

成城学園の幼稚園、小学校、中高校の図書担当者とともに、学園図書館図書室連絡会を開催したことも、2013年度の新しい試みであった。同じキャンパスにしながら、これまでは相互の連絡がなかったが、中高一貫教育のための新校舎建設を契機に、情報や意見を交換する場を設けることになり、2014年2月末に第一回会議が開催された。

その他、近年開始された企画も順調に続いている。たとえば、学生による選書ツアーを行った紀伊国屋書店は、2013年の年末から14年の年始にかけて、成城大学の学生が選んだ本を学生の作成にかかるポップとともに展示するコーナーを設けて下さった。

以上、新たな変化や取り組みについて述べてきたが、図書館員全員の努力によって従来からの図書館業務が堅実に遂行されたことも、最後に強調しておきたい。さまざまな要因が働いた結果であろうが、前年に上向きに転じていた図書館利用者数は、2013年度にさらに増大した。大学の知的活動の軸としての図書館の役割がますます問われている今、いっそう多くの方々に利用していただける図書館をめざして、工夫を重ねていかねばならない。

# I 概況

## 1 2013年度の図書館業務

### (1) 図書館業務の概況

#### ①人事・組織

- 専任職員は16名であった。
- 派遣職員の退職に伴い、7月1日付けで契約職員（総務課）の採用があった。
- 緊急時の対応要員として閉館時刻まで職員1名を本館に待機させていたが、今年度よりこれを廃止した。
- 後期からの3号館雑誌室開室時間延長に伴い、変則勤務で対応した。
- 書庫問題検討委員会、及び資料保存修復委員会を今年度一杯で解散し、次年度からはそれぞれ運用課、整理課の所管業務とした。
- 「第2世紀ビジョンの実現に向けた中期計画」を策定し、図書館運営の指針とした。

#### ②図書館サービスの充実と多様化を推進

- データベースセミナーを前期（レポート作成&就活対策セミナー）と後期（企業情報収集セミナー）計6回開催した。昨年同様、キャリア支援部の協力を得た。
- 昨年に引き続き、全学共通教育科目「成城学園を知る」の特別聴講生の図書館利用に対応した。
- 三省堂書店と紀伊國屋書店の協力を得て前期と後期に選書ツアーを実施した。購入した図書はツアー参加学生の紹介文を添えて館内に展示したほか、一部は紀伊國屋書店でも展示を行った。
- 図書館システムのMy Libraryについて、学術認証の対応を行った。
- 旧制高校卒業生について、貸出の対応を行った。
- 春季休講期間中の閉館時刻を16時から17時まで延長した。
- 後期から3号館雑誌室の平日の開室時間を16時30分から18時まで延長した。
- 「成城大学学生のための資料・文献の探し方」を作成し、ホームページに掲載した。
- 5月23日から2週間にわたり、学生有志による所蔵資料を使った資料展示を行った。
- 4月1日から26日にかけて、「浮世絵作品展～美人画を中心に～」と題し、図書館所蔵の浮世絵作品「吉原傾城 新美人合自筆鏡」の展示を行った。
- 文化祭期間から3週間にわたり、貴重資料展示「ラシエット・オ・ブール誌～フランスの華麗なる諷刺雑誌とスタンラン～」を開催した。
- 文化祭期間中、スタンプラリー「～歩いて、見て、わかる、図書館まるごと展示～」を実施した。
- 後期の定期試験期間中、2階のプレゼンテーションルームを閲覧席として開放した。
- 図書館ホームページの改修費用を次年度予算に盛り込んだ。
- 図書館主催の講演会を次年度、はじめて実施する方向で調整を行った。
- 前年度末に館内設置の情報検索端末20台をメディアネットワークセンターが管理する学習用PCに置き換え、更に学習用PC15台の増設を行った。

### ③資料の収集・データベース化・保管・廃棄

- 博士論文のリポジトリによる公開について、学内での検討を開始した。
- 図書館システムによる検索を目的として、経済研究所が今年度より外部委託で進めている所蔵資料の遡及入力について、2,723件（英独仏語）のデータチェックを行った。
- 地下2階の洋書と地下3階の和書、約10万冊を対象に蔵書点検を行った。
- 貴重書関連の規則等について整備を行った。
- 学習図書費によるデータベースの購入を開始した。
- 視聴覚資料の除籍について、検討を開始した。
- ナトルプ文庫の脱酸、修復作業に着手し、脱酸済みの資料を遡及入力し地下3階書庫に移設する計画について、検討を行った。
- ナトルプ文庫に含まれる手稿類と成城大学新聞の電子化を行った。
- 新規データベース（D-Vision、NewspaperDirect）を導入し、電子ブック（eBook Library）の購入を開始した。
- 科学研究費間接経費で『佚名物語絵巻』2軸と『横濱正金銀行（マイクロフィルム版）』86リールを購入した。
- 私立大学研究設備整備費等補助金で『臨床精神医学講座（電子ブック版）』全36巻と「未来社会と文化の理論研究に関する図書一式」（全11点、43巻）を購入した。
- 文芸学部英文学科の要請に基づき、地下2階に「英語多読コーナー」を設置した。
- 2階と3階に分散していた雑誌の別冊・増刊コーナーを地下1階に移設した。
- 3階に配架されていた経済関係の洋書を地下2階に移設した。
- 地下2階の洋書を貸倉庫預入の候補とし、教員によるブラウジングを実施した。
- 外資系の洋雑誌取次業者が今年度一杯で業務を終了することから、返金処理等を行った。
- 雑誌のバーコードに不具合があり、約2,060枚の貼り替えを行った。
- 図書館システムから出力され仮ファイルされていた図書、雑誌、視聴覚資料の各原簿を製本した。

### ④3号館雑誌室・書庫の管理・運営

- 3号館雑誌室・書庫運営委員会を開催し、今年度一杯で同委員会を解散し、次年度以降はその機能を図書館委員会に引き継ぐことを確認した。
- 文芸共用研究室に設置されていたメディアネットワークセンターのオンデマンドプリンタを雑誌室に移設した。
- 後期からの雑誌室開室時間延長に合わせて、危機管理の一貫として非常通報装置を設置した。
- 夏季休業期間中に本館で実施したアクティブラーニング施設導入のための改修工事に合わせ、雑誌室でもアクティブラーニングに対応した備品の更新を行った。

### ⑤学外組織との相互協力の推進

- 次年度からの実施に向け、「四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領」の再発行手数料に関する部分が各大学の実態に適った形で改正された。
- 次年度からの実施に向け、「世田谷区民の図書館利用」について検討を行った。
- 私立大学図書館協会、東地区部会長校の明治大学より2017-2018年度の役員校（研究部担当理事校）就任要請があり、これを受諾した。また、これに伴い研究部研修委員（2

- 014年度から2年間)の選出要請があり、委員1名を選出した。
- 2013年度の五大学図書館懇談会(第38回)が11月22日に武蔵大学で開催された。
  - また、世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会(第13回)が11月29日に国士舘大学で開催された。(詳細はp. 22、図書館相互利用を参照)

#### ⑥図書館員の能力の向上

昨年度に引き続き、外部の研修会に積極的に参加した。主なものは以下の通り。(詳細はp. 21、図書館職員の研修を参照)

- 国立情報学研究所主催の目録システム講習会(図書コース)に宮澤佳子、成田義樹、畠山仁美、佐久間笑子が参加した。
- 漢籍整理長期研修に金田陽治が参加した。

#### ⑦建物、施設、備品の改修・補充関係

- 4号館のリニューアル計画について、民俗学研究所、経済研究所と意見交換を行った。
- 閲覧室の温度管理が安定したことを受け、館内で実施していた温度調査を取り止めた。
- 地下1階の換気扇に不具合が発生したため、改修を行った。
- 1階ワークルールの洗面台で配管の腐食が確認され、改修を行った。
- チャイムの動作不具合が多発したため、管理課に対応を依頼した。
- 継続的に進めてきた地下3階電動集密書架の基盤交換工事が完了した。
- 台風の影響で4階南側ワークルームと2階休憩室で雨漏りが発生したため、管理課経由で業者に調査を依頼した。このうち、2階休憩室の雨漏りについてはパッキンの交換を行った。
- 省エネ対策の一環として、管財課、管理課による氷蓄熱システムの検証が行われた。また、一定期間、氷蓄熱ユニットの運転を停止するなど、省エネに努めた。
- 閲覧席に隣接するドアの開閉音について利用者からクレームがあり、対応を行った。
- アクティブラーニング施設の導入に向け、業者によるプレゼンテーション、音漏れの調査、自動PC貸出ロッカーの打合せ、無線LAN設置工事などを実施し、ICT機器や備品関係の見学会にも参加した。
- 夏季休業期間中にアクティブラーニング施設導入のための改修工事を行った。主な改修箇所は以下の通り。
  - ①新刊雑誌コーナーをアクティブラーニングエリアに改修し、自動PC貸出ロッカーを設置。新刊雑誌コーナーを1階中央部分へ移設した。
  - ②共同研究室2室をプレゼンテーションルームに改修し、ICT機器を設置した。
  - ③グループ学習室を一部改修し、ICT機器を設置した。
  - ④休憩室をリニューアルし、備品の更新を行った。
- アクティブラーニング施設の導入により、座席数が632席(本館524+82、3号館21+5)になった。
- グループ学習室4の壁面で生じていた漏水に対し、業者が壁面内に排水路を設置するなどの対応を行った。
- 閲覧机に設置されている蛍光灯のうち、1階部分の更新を行った。
- 自動PC貸出ロッカーで学生証の読み取り不良が発生したため、業者に調査を依頼した。

#### ⑧学内他部署との協力・調整



- 会計検査院による実地調査について、対応を行った。
- 学園が進める障がい者雇用プロジェクトに職員が参加し、インターンシップ学生の受入を行った。
- 学生データの受渡方法について学生部、教務部と検討を行い、図書館も教学システムからのダウンロードの権限を取得した。
- 学園長の呼びかけにより学園図書館図書室連絡会が発足し、第1回目の会合を開催した。
- 入試広報部作成のビデオや文芸学部の受験生向けパンフレットにアクティブラーニングエリアを会場として提供した。

#### ⑨危機管理その他

- 前・後期試験中、職員による館内巡回を実施した。
- 大学の防災訓練に合わせ、図書館でも防災訓練を実施した。
- 10月16日、台風26号の影響により開館時間を12時30分からに変更し20時まで開館した。
- 2月14日、降雪のため16時で閉館した。

## (2) 総務課業務報告

### ①人員と担当

人員は総務課長を含めて専任職員4名、契約職員1名、派遣職員1名、アルバイト職員4名であったが、前期中に派遣職員が退職したため、一時的に代替の派遣職員で補充し、7月より契約職員1名を採用した。

雑誌業務については専任職員1名が主担当として和雑誌を、契約職員1名が洋雑誌・電子資料をそれぞれ担当し、アルバイト職員1名が日々の受入作業を行った。この他、冊子体、電子ジャーナル、データベース等各種媒体の契約や書誌情報の管理、また、除籍作業などにも積極的に取り組んだ。

庶務・会計業務は派遣職員の業務であったが、7月から契約職員1名が担当し、日々の庶務業務は雑誌担当者とも連携しながら業務にあたった。

3号館雑誌室業務については専任職員1名が主担当として雑誌室関連の業務を統括し、アルバイト職員3名が交替でカウンター対応や、他機関から依頼のあった文献複写への対応を行った。

### ②雑誌業務

#### a. 発注、受入、整理

2013年度は購入、編入合わせて2,321冊を受け入れた。また、2,932種の雑誌、紀要、新聞について受入作業を行った。いずれも図書館システムに所蔵登録をおこない、バーコードラベル、無断持ち出し防止装置の装着後、閲覧係や研究室・資料室などへ提供した。

#### b. 除籍

除籍は資産扱いのもの26冊と資産外扱いのもの103冊を処理した。更に、学部の実態を把握し、電子化が確認された紀要の除籍を進めた。

#### c. 会計処理

2012年4月より継続してカレントチェックイン分の金額を図書館システムへ入力し、会計係との連携を図っている。

更に、伝票の締め日毎に作成している集計表を工夫し、JUSTICE契約状況調査の集計作業の省力化に努めた。

d. 業者によるガイダンスの実施

データベースや新聞の読み方について、各業者によるガイダンスを前期と後期に実施した。いずれも図書館外の教室で開催し、7月は3回（就活関連2回、レポートの作成1回）、後期は11月に3回（就活関連1回、企業分析方法2回）実施した。各回ともキャリア支援部と共催としたほか、先生方にもチラシの配布や宣伝活動にご協力いただき、参加者を集めることができた。

③庶務業務

庶務担当は日常的に郵便物処理、書類の配付・回覧、各種学内提出書類、文部科学省調査等対外書類・報告書の作成を行ったほか、学園資料の収集と保管、廃棄などの作業も積極的に行った。

④会計業務

会計担当は日常的に支払依頼票起票、帳簿管理、書類内容チェック、前渡し金管理、現金収入管理や予算・決算書作成、伝票整理、原議書の起案等を行った。

なお、今年度より伝票の様式を学園会計課の統一フォーマットに変更した。

⑤システム管理業務

図書館システムE-C a t sの安定稼働に努めると共に、メディアネットワークセンターとも連携した館内ネットワークの整備や学習用PCの導入サポートにあたった。

⑥3号館雑誌室業務

雑誌室利用者へのサービスとして、地下書庫からの出納や新着雑誌の配架、また、遡及や製本作業などを行った。また、地下書庫の環境対策として継続的な温湿度管理を行い、空気の循環にも配慮した。

雑誌室でもアクティブラーニングの実施に向け、夏季休暇中に備品の入れ替えや、学習用PCコーナーが新設された。また、オンデマンドプリンタが設置されたことや、後期から平日の開室時間を18時まで延長したため、後期試験期で入室者が大幅に増加した。

a. 製本業務

図書館と各学部合わせて2,075冊の製本発注受入を行った。

b. 文献複写発送業務

処理件数627は件、枚数は4,374枚であった。

⑦設備機器保守管理業務

a. 設備機器の保守管理

b. 各種設備・機器の修理依頼

c. 3号館書庫での温湿度調査

d. 新任の職員や委託スタッフなどへ館内消火設備や避難誘導の指導を実施

e. 全学で実施した防災訓練の際に、図書館地区隊として独自の防災訓練を実施

### (3) 整理課業務報告

#### ①人員と担当

今年度は、整理課長を含めて専任職員5名、契約職員6名、臨時職員3名の14名体制でスタートした。業務分担は、受入・発注4名（内1名は除籍を兼務）、和書整理4名、洋書整理3名、AV・マイクロ資料1名、装備業務2名（実働時間数による人数は1.5名）である。

4月に整理課長と総務課長が交替し、更に契約職員4名を新規採用した。

和書受入の職員が和書整理を兼務したほか、和書整理の職員がAV・マイクロ資料の整理を兼務するなど、複数の担当を兼務することで業務の継承と効率化に努めた。臨時職員についても、装備担当の1名が視聴覚資料（CD）の遡及入力作業や2類（日本史）の再整理作業を兼務した。

#### ②発注・受入業務、除籍業務

##### a. 発注・受入業務

2013年度の受入冊数は、購入・寄贈を合わせて、和書9,023冊、洋書4,288冊であった。購入資料では、今年度より1冊単位での電子ブックの購入を開始した。

##### b. 除籍業務

今年度の除籍総数は599冊（和書547冊、洋書52冊）であった。主に蔵書点検による不明本と汚損本である。

#### ③整理業務

##### a. 和書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が13,045冊、遡及203冊、再整理3,696冊である。新規受入図書では、元文芸学部教員の尾形叡氏蔵書588冊の整理が完了したほか、昨年度に引き続きプレハブ倉庫に保管していた旧分類和書の遡及作業を完了した。

##### b. 洋書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が7,701冊、遡及13冊、再整理290冊である。新規受入図書では、市河三喜氏寄贈図書438冊を整理し全ての寄贈図書の整理を完了した。このほか、プレハブ倉庫に保管していたOECD資料499冊の整理が完了し、ILO関係資料のうち612冊の整理を行った。また、昨年度開設した「英語多読コーナー」の特別整理1,253冊も継続して行った。

更に、今年度より外部委託で遡及入力を開始した経済研究所所蔵資料2,723件のデータ確認と修正作業も行った。

#### ④AV・マイクロ資料業務

##### a. 受入

今年度の新規受入総点数は1,286点である。おもな資料は、CD231点、DVD546点、Blu-ray103点、マイクロ資料279点である。

b. 整理

今年度の新規整理点数は映像資料614点、録音資料173点、電子資料61点、マイクロ資料287点である。また、クラシックCDを中心とした録音資料の遡及入力を983点行った。

#### (4) 運用課業務報告

##### ①人員と構成

課員は課長を含めて専任職員6名、内訳は参考係2名・閲覧係3名で、その他派遣職員1名および契約職員5名がメインカウンター・AVカウンター・配架等の業務を行っている。臨時職員は受付業務を2名が交替で行う他に配架係として2名が週3～4日の交替勤務をしている。年度末退職の嘱託職員の後任として4月に派遣職員を、同様に退職した契約職員2名の後任を採用した。

夜間の時間帯は業務委託職員が受付1名・閲覧係2名・AV係1名で対応している。今年度より業務委託時間に専任職員1名を残すことを止めることとした。

##### ②各カウンター業務

###### 1) メインカウンター

###### a. 旧制高校卒業生への貸出の開始について

5月より旧制高校卒業生に対して学部卒業生と同様に図書の出借サービスを開始した。手続き時の卒業証明書に代わる証明書類は高校事務室にて発行してもらうことになった。

###### b. 「成城学園を知る」聴講生への貸出について

聴講料を免除された授業科目「成城学園を知る」を聴講する学園父母に対して、通常の聴講生と同様に貸出サービスを行うことにした。

###### 2) レファレンスカウンター

###### a. 各種ガイダンスについて

4月恒例の新生ガイダンスでは、大学院新生へのガイダンスを担当した。教員からの要請による「ゼミガイダンス」は30回行い、受講者は428名であった。

###### b. N I Iへの本学紀要データ登録について

2013年度の新規登録論文数は343本であった。2014年3月末現在の総登録論文数は6,149本、登録対象紀要は29誌である。

なお、登録作業においては新規発行分のほか、既刊分の遡及入力も積極的に行っている。

###### c. 新聞バックナンバーの移動について

アクティブラーニングエリア関連の改修工事に伴い、新刊雑誌コーナーの棚にストックしていた産経新聞、東京新聞、英字新聞などのバックナンバーを1階や地下1階に移動した。

###### 3) AVカウンター

###### a. 英語多読資料のCDは附録として取り扱い、貸出はメインカウンターで行うことになった。

#### 4) 特記事項

##### a. 閲覧席蛍光灯の交換について

経年劣化した1階閲覧席の蛍光灯を更新した。

##### b. アクティブラーニングエリア関連の改修工事について

(詳細はアクティブラーニング実施委員会報告、並びにトピックを参照)

夏期休暇中の一斉休暇とその後の1週間を閉館して、学生の主体的な学びをサポートするための施設改修工事を行った。1階新刊雑誌コーナーをアクティブラーニングエリアに、2階・3階の共同研究室をプレゼンテーションルームに改修した。また2階・3階の休憩室と地下1階のグループ学習室も改修し、各施設にはICT機器を設置した。

##### c. 英語多読コーナーの設置について

地下2階洋書エリアの一部に文芸学部 of 授業科目に対応した学部生向けの読み易い資料を集めた英語多読コーナーを設置した。

##### d. 蔵書点検について

3月に地下3階の和書と地下2階の洋書の約10万冊について蔵書点検を実施した。

##### e. 新任教員研修会について

新任教員研修の一環として、今年度より専任教員だけではなく、非常勤講師も含めた図書館ガイダンスを4月2日(火)に実施した。

##### f. 学習用PCの増設について

メディアネットワークセンター管轄の学習用PCを15台新設し、加えて情報アクセス端末を同様の学習用PC20台と置き換え、計35台を増設、館内の学習用PCは合計50台になった。

##### g. 地下3階電動書架の基盤改修について

地下3階電動書架の基盤改修については、1回目を前年度の3月に、2回目を2013年8月に実施し、2008年から実施してきた改修のすべてが完了した。

#### ③ 祝日開館について

祝日授業のため4月29日・7月15日・9月23日・10月14日・11月23日・12月23日に通常開館をした。

#### ④ 臨時開館について

試験期臨時開館を前期試験の7月21日・28日の日曜日、及び後期試験の1月18日・19日のセンター試験日に実施した。

#### ⑤ 開館時間の短縮・臨時閉館について

10月16日(水) 台風の影響により時間を遅らせて12時30分から開館した。  
2月14日(金) 降雪のため16時で閉館した。

## (5) 図書選定委員会報告

### ①委員

委員長1名、委員5名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

定例で毎週火曜日の朝9時からの開催とし、2013年4月から2014年3月まで、計31回開催した。

### ④活動状況

1) 従来同様に、出版案内・出版目録・新聞書評等を用いて、学生の利用を想定した資料選定をおこなった。見計らい資料は内容を確認し選定した。

#### 2) 購入希望(リクエスト)資料

リクエストは、原則、委員会にて決定した。定例の委員会以外でも、必要に応じて、事務長が購入の可否を決定した。

学生や教職員からの「リクエストカード」による購入希望および館員からの推薦による購入希望を含めた今年度の承認数は以下のとおりである。

和書	471	(学生	268	大学院生	31	教職員	172)
洋書	53	(学生	11	大学院生	28	教職員	14)
AV資料	733	(学生	72	大学院生	1	教職員	660)

\*単位は資料により異なる(冊・枚・本)

## (6) 広報委員会報告

### ①委員

委員長1名、委員5名

### ②任期

2013年5月1日～2014年4月30日

### ③委員会の開催

2013年度は7回開催した。このほか、行事の企画および印刷発行物の製作状況などに  
応じて、短時間の打ち合わせを何度か行った。

### ④活動内容

#### 1) 各種刊行物の編集・発行・配布

「図書館暦」(和文、A4版、7月・10月・1月・4月発行)

第121号(2013年7月)～第124号(2014年4月)、全4号を刊行した。

#### 各号の内容

第121号(2013年7月、4頁、2色刷、1,200部)

貴重資料紹介 浮世絵作品「吉原傾城 新美人合自筆鏡」／星 文乃

新設「英語多読コーナー」～英語を楽しもう!～

第122号(2013年10月、6頁、2色刷、1,500部)

「アクティブラーニングエリア」誕生!／伊藤 則之

就活にもつながる図書館の資料 – “社史”を読みましょう!

2013年度前期 選書ツアー報告

第123号(2014年1月、6頁、2色刷、1,000部)

2013年度文化祭報告

L'Assiette au beurre ラシエット・オ・ブール誌 ～華麗なる諷刺雑誌とスタ  
ンラン～／澤田 はる江

B2Fシルクスクリーン印刷 (Silk-screen printing)

第124号(2014年4月、4頁、2色刷、3,500部)

ページをめくる本、めくらない本／木畑 洋一

図書館みどころ案内 – 知っておきたい、としょかんワンポイント!

「成城大学図書館利用案内」(和文、A5、カラー24頁、年1回発行)

今まで在校生向け(A4版)と外来者(受験生、文化祭での来館等、外部からの見学者)

向け（三折り）を各1冊計2冊発行していたが、今年度は、それらをまとめて1冊（A5版）に作成した。図書館の概要、特色、施設紹介、フロアガイド、サービス内容などについて解説したものである。印刷部数は5,000部である。

「Seijo University Library Guide」（和文、B5版、全12種、年1回発行）

各施設の使い方、各カウンターのサービス内容などを説明したリーフレットである。アクティブラーニングエリア新設にともない、名称変更やサービス変更などについて改訂した。

## 2) 文化祭一般公開

今年度は、『歩いて、見て、わかる、図書館まるごと展示』と題して、1. スタンプラリー形式で秋に開設した新エリアの紹介および美術装飾品の解説、2. 貴重雑誌「ラシエット・オ・ブール誌」の展示を行った。入館者数は940名だった。スタンプラリーに参加していただいた方には、図書館オリジナルカレンダーをプレゼントした。館内には、例年通り音楽を流した。

## 3) 新入生ガイダンス

2013年の新入生図書館ガイダンスは、2012年度の広報委員会が実施した。

例年90分でビデオ放映と館内ツアーをしていたが、今年度は60分になったため、入学式前日（4月1日）の新入生オリエンテーションでビデオ上映を行い、ガイダンス期間（4月3日～5日）で館内ツアーを行った。ビデオは新入生オリエンテーションで流すため、OPACの使い方などの詳細部分は削り、イメージビデオに内容を大幅に改訂した。今年度のガイダンス期間は、例年より日数が少なく、他部署のガイダンスの開始時間まで図書館のガイダンス時間が割り付けられ、時間の余裕がないスケジュールが組まれたため、出席率が上がったというメリットと、他部署のガイダンスがおすと、図書館のガイダンス開始時刻が遅くなってしまおうというデメリットがあった。平均出席率は82.4%と、昨年の65.1%より大幅に向上した。貴重書展示として、ちりめん本とドイツ児童文学コレクションを展示した。



## (7) 書庫問題検討委員会報告

### ①委員

委員長1名、委員5名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

委員会は開催せず、資料の移動に当たっては関係部署と相談しながら実施した。

### ④活動内容

1) 地下3階閉架資料の貸倉庫預け入れのための資料選別について(和書3カ年計画の2年目)

2013年度は9門の一部から和書0～2門を対象に前期4回、後期5回、計9回行った。9門については教員より館内配架の希望が多く、預け入れ予定数に達しなかったため、第9回を実施した。全9回の預け入れ数は合計14,798冊434箱で和書は終了した。

2) 地下2階洋書の貸倉庫預け入れのための資料選別について

地下2階9門作家研究の洋書については、地下3階洋書の資料選別の際に対象外とされており、かなり年代の古く利用の少ないものが残されていた。そのため初めて開架書架を対象として1999年以前の洋書資料の選別を2月に行い、306箱を預け入れた。

3) 体育科貸出資料の貸倉庫預け入れについて

体育館改修に伴い、体育科より返却希望のあった旧体育科貸出資料の図書127箱分を貸倉庫に預け入れ、雑誌については一部を除籍した。

4) アクティブラーニング施設改修工事に伴う資料の移動について

新刊雑誌コーナーを1階吹き抜け下に移動するために雑誌の一部を地下1階に、また2階・3階配架の別冊雑誌を地下1階に移動するために、地下1階に配架されていた大学紀要の一部を旧館に移動した。

5) 貸倉庫預入箱数

2013年度末までの総預入箱数(2014年3月末現在)

B1タイプ	893箱	B2タイプ	6,383箱
Cタイプ(大型)	25箱	TIMES	578冊
超大型本	108冊	マイクロフィルム	228箱
		合計	8,215箱

## (8) システム委員会報告

### ①委員

委員長1名、委員6名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

2013年度は10月11日に開催された。

### ④活動内容

2013年度は図書館システムのカスタマイズとして、My Libraryのログインを学術認証フェデレーション（学認）に対応した。

2014年度の予算については、図書館システムのカスタマイズは行わず、下記のPCの置き換えを申請した。

#### 1) 2006年度購入のノートパソコン 2台

蔵書点検、貸倉庫の箱詰め作業等に使用していたノートパソコンの経年劣化とOSのサポート終了のため。

#### 2) 2005年度購入のCD-ROM検索機 2台

レファレンスカウンター横のCD-ROM検索機の経年劣化とOSのサポート終了、さらに国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの利用者用端末とするため。

また、CD/DVD-ROMサーバが2014年3月でリース期間終了だが、後継機種の販売が無くなったため、再リースで運用を行うこととした。

## (9) 資料保存修復委員会報告

### ①委員

委員長1名、委員4名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

2013年度は4回開催した。

### ④活動内容

#### 1) ナトルプ文庫の脱酸処理について

前年度要求した予算が通ったため、6か年計画で当該文庫の脱酸処理を行うことになった。本年度は、貴重書室に配架してあった資料を中心に作業を行ったが、劣化した厚紙バインダーによって保存されている資料が71点含まれていたため、それらは次年度以降に修復し脱酸処理することとした。1年目の作業として776点の資料の脱酸処理を行った。

#### 2) 貴重書・準貴重書の指定基準について

「成城大学図書館貴重書指定基準」、「貴重書取扱要領」、「ナトルプ文庫の取り扱いについて」の3つの内規を作成し、運営会にて承認された。

## (10) スチューデントアシスタントワーキンググループ報告

### ①委員

委員長1名、委員4名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

2013年度は10回開催した。(4月18日・4月25日・5月1日・5月16日・6月4日・9月17日・10月8日・10月15日・11月12日・12月12日)

### ④活動内容

昨年度から始めた選書ツアーを前期と後期に2回実施した。今回は全員揃って選書実施日に行うのではなく、学生の都合も配慮して1週間ほどの期間を設け、その期間で都合の良い時間に書店に行き、選書してもらうことにした。

前期は5月27日(月)～5月31日(金)の期間に三省堂書店成城店および三省堂書店神保町本店で実施し、12名の学生が参加した。

後期は10月14日(月)～10月18日(金)の期間、紀伊國屋書店新宿本店で実施した。後期は交換留学生14名と日本人サポーターも参加して洋書なども購入した。

11月28日(木)に紀伊國屋書店主催のPOP作成講座に4名の学生が参加し、プロの技を参考に展示用のお薦め本のPOPを作成した。中でも留学生の作成したPOPはユニークなものも見受けられた。これらのPOPは学内の選書ツアー資料の展示後に、紀伊國屋書店新宿本店で本学の大学案内などと共に展示され、学生ならではの新鮮な感覚が好評を得た。

なお、選書ツアー参加者には図書カード1,000円分を支給した。

また、5月には昨年選書ツアーに参加してくれた学生有志2名が独自の視点で「新入生に読ませたい本」というテーマで5月23日(木)～6月5日(水)に自主企画として展示を行った。

#### 前期選書ツアー

参加者 12名  
購入図書 116冊  
展示期間 7月16日～7月31日

#### 後期選書ツアー

参加者 24名(内留学生 14名)  
購入図書 249冊  
展示期間 12月3日～12月20日

## (11) 情報リテラシー教育ワーキンググループ報告

### ①委員

委員長1名、委員3名

### ②任期

2013年4月1日～2014年3月31日

### ③委員会の開催

2013年4月から2014年3月まで、計32回開催した。

#### ④活動内容

4月15日(月)を初回として、前期の月曜日1時限に計14回の授業『図書館活用法』を実施した。内2回は図書館内での演習であった。希望者は定員を超え、教室(802)の定員いっぱいの56名が登録した。図書館として初めてのことであり、各回の授業は次回の授業担当者と2名の委員が授業援助を兼ねて傍聴した。また館内演習には多くの館員が参加して学生を指導した。この期間中はほぼ毎週委員会を開催し、授業計画の調整を行った。

定期試験期間中の7月29日(月)1時限に試験を実施した。試験受験者は43名で、単位取得者は42名であった。

後期より来年度授業の検討を行い、基本的には今年度を踏襲する形でシラバスと学習達成目標を改訂した。また次々年度の委員2名を先行して決定し、年度末よりオブザーバーとして委員会に参加し、委員と共に授業を担当してもらうこととした。

## (12) アクティブラーニング実施委員会報告

### ①委員

委員長1名、副委員長1名、委員6名

### ②任期

2013年4月1日～2013年11月6日

### ③委員会開催

2013年度は6回開催した。(2013年5月9日・6月13日・6月21日・7月22日  
・10月23日・11月6日)

その他委員会とは別に丸善との打合わせを数回行った。

### ④活動内容

昨年度に引き続き、委員会と丸善との打ち合わせを交互に行いながら、什器や各施設の仕様、名称などを決めていった。什器やICT機器の選定については各社のショールームを見学して決定した。また自動PC貸出ロッカーについては既に導入実績のある東京都市大学図書館の実情を参考にした。(各施設の改修内容についてはトピックを参照のこと。)

工期は夏期一斉休暇とその後の1週間を臨時閉館して行った。9月21日の後期開講に合わ

せてICT機器の説明会を行い、各施設の運用を開始した。今回の改修では飲食は従来どおり蓋のついた飲み物以外は禁止としたが、その後1階コピー室に食事のできる場所が設けられな  
いかという要望があり、委員会で検討した。しかし、水回り・空調設備などの対策が必要なた  
め、追加の改修は難しいと判断した。なお、本委員会はアクティブラーニング施設が完成し、  
使命を終了したため11月6日をもって解散した。

完成後の利用状況は、アクティブラーニングエリアについては当初こそ利用促進のため講演  
会や説明会などのイベントを行って学生に周知を図ったが、11月以降は学生のグループ利用  
が徐々に増え、多い時は20名前後の学生が活発に利用している。自動PC貸出ロッカーの利  
用も多く、PCの充電が間に合わず利用できない時間帯もあった。グループ学習室は試験期以  
外でも様々な用途での利用が増え、休憩室はリラックスした中で学生が勉強している姿も見う  
けられる。

自由に議論のできるアクティブラーニングエリアの新設は、入館者を増やす効果をもたらし  
たが、従来の静寂さを確保することが今後の課題である。

## 2 図書館職員の研究

### (1) 学外研修

年 月 日	研修主催団体	研修会名	参加者
2013年 5月 22日～5月 24日	国立情報学研究所	NII目録システム講習会(図書コース)	
2013年 6月 10日～6月 14日	東京大学 東洋文化研究所	漢籍整理長期研修	
2013年 6月 12日～6月 14日	国立情報学研究所	NII目録システム講習会(図書コース)	
2013年 6月 14日	國學院大学 (渋谷キャンパス)	私立大学図書館協会東地区部会	
2013年 7月 4日	明治大学 中央図書館	I A A L 研修	
2013年 7月 10日	東京都教職員研修センター	障害者雇用促進に向けた企業向けセミナー	
2013年 7月 17日～7月 19日	国立情報学研究所	NII目録システム講習会(図書コース)	
2013年 7月 24日～7月 26日	東京大学 (本郷キャンパス)	文化庁平成25年度図書館等職員著作権実務講習会	
2013年 7月 27日	慶応義塾大学(三田キャンパス)	三田図書館 情報学主催講演会	
2013年 8月 2日	ウエスティンホテル東京	LIMEDIO Seminar 2013	
2013年 9月 2日	東洋文庫	漢籍整理長期研修	
2013年 9月 3日～9月 6日	東京大学 東洋文化研究所	漢籍整理長期研修	
2013年 9月 5日	東京工業大学	大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 版元提案説明会	
2013年 9月 28日～9月 30日	東洋文庫	西洋古典籍書誌講習会	
2013年 10月 29日～10月 30日	パシフィック横浜	第15回図書館総合展	
2013年 11月 12日	日本図書館協会	「日本十進分類法新訂10版」第2回説明会	
2013年 11月 6日～11月 8日	一橋大学	西洋社会科学古典資料講習会	
2013年 11月 13日～11月 15日	国立情報学研究所	NII目録システム講習会(図書コース)	
2013年 11月 22日	武蔵大学図書館	五大学図書館懇談会	
2013年 11月 29日	国立大学イブニングホール	世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会	
2014年 2月 26日	国立情報学研究所	平成25年度図書館コンソーシアム連合総会	
2014年1月30日～3月6日 うち6日	東洋文庫	和漢書誌学実習	

### (2) 研究分科会他

2013年 4月～2014年 3月	私立大学図書館協会東地区部会研究部	企画広報研究分科会	
2013年 6月～2013年 12月	私立大学図書館協会東地区部会研究部	研修分科会	

### (3) 館内研修

2013年 9月 24日	図書館	防災訓練	館長、職員、在館者
--------------	-----	------	-----------

### 3 図書館相互利用

#### (1) 五大学図書館懇談会

2013年度第38回の懇談会は武蔵大学を幹事校として開催された。相互の図書館活動の協力と情報交換を中心に、館長、事務長、担当者の3グループに分かれて、各図書館のかかえている問題について様々な意見交換がなされた。

2013年度五大学図書館懇談会（第38回）

日時：2013(平成25)年11月22日(金) 14:00～17:00

会場：武蔵大学8号館8階88-H会議室、88-I会議室、大学50周年記念ホール

出席者：成城大学は図書館長ほか4名

#### [懇談事項]

##### 1. 各館の近況報告

各大学より近況報告と新たな取り組み、課題などの報告が行われた。

##### 2. 各グループでの情報交換・討議、報告

(館長グループ) 電子化の進展と学術情報流通の変化、学習支援及び教育活動への直接の関与、大学図書館の将来像、以上3点について意見交換が行われた。

(事務長グループ) 地域開放について、館内の巡回・防犯・セキュリティ体制について、マイクロ資料の保管について、ラーニング・コモンズについて、貸出規則の変更について、以上5点について意見交換が行われた。

(担当者グループ) 臨時休館等の連絡体制について、9版への分類変更について、リポジトリ公開前の博士論文の保管・公開方法について、情報検索ツールについて、洋雑誌やデータベースの契約見直し方法について、避難訓練の実施状況について、以上6点について意見交換が行われた。

#### [その他]

##### 1. 次年度開催校の確認

##### 2. 四大学図書館相互利用の実績統計のとりまとめについて



## (2) 世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会

第13回世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会

日 時：2013（平成25）年11月29日（金） 15：00～19：30

場 所：国土館大学 メイプルセンチュリーホール5階第1会議室

出席者：成城大学は図書館長ほか4名

### [報告事項]

平成25年度世田谷6大学の図書館相互利用協定大学利用条件一覧について、平成24年度世田谷6大学図書館相互利用実績、発行数について、平成24年度世田谷6大学コンソーシアム図書館横断検索アクセス数について ほか

### [協議事項]

世田谷6大学の図書館相互利用専門委員会の委員長校について ほか

### [懇談事項]

機関リポジトリの運営等について ほか

### [講演会]

講 師：乾 昭文（国土館大学理工学部教授）

演 題：雷の不思議

### [情報交換会]

### (3) 四大学図書館相互利用実績

#### ①入館者統計 (2013年4月～2014年3月)

所属大学		受入館	学習院	成蹊	成城	武蔵	所属合計
学習院	教職員	学習院	学習院	0	6	2	192
	学生			47	63	74	
成蹊	教職員	83	成蹊	成蹊	0	3	118
	学生				25	7	
成城	教職員	73	成蹊	成城	0	4	106
	学生				13	16	
武蔵	教職員	70	成蹊	成城	4	武蔵	142
	学生				19		
小計	教職員	226	学習院	成蹊	成城	武蔵	558
	学生						
受入合計			226	79	147	106	558

\*学習院大学は2005年度から入館システムを変更した。

このため教職員・学生の区別が不可能となった。

#### ②貸出統計 (2013年4月～2014年3月)

所属大学		受入館	学習院	成蹊	成城	武蔵	合計
学習院	登録者数	学習院	学習院	14	6	23	43
	貸出冊数			23	18	44	85
成蹊	登録者数	83	成蹊	成蹊	4	6	25
	貸出冊数				78	8	8
成城	登録者数	73	成蹊	成城	5	9	28
	貸出冊数				86	17	18
武蔵	登録者数	70	成蹊	成城	7	武蔵	32
	貸出冊数				108		18
合計	登録者数		46	27	17	38	128
	貸出冊数		272	58	52	70	452

(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績

①入館者統計(2013年4月～2014年3月)

所属大学	受入館			国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			利用者数合計				
	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生		
国士館大学から	/			0	5	23	1	0	2	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	27	27
				計	28	計	3	計	23	計	0	計	2	計	2	計	56									
駒澤大学から	9	3	197	/			2	3	15	1	29	0	0	12	0	0	0	1	1	2	13	36	226			
	計	209	計				20	計	30	計	12	計	4	計	275											
昭和女子大学から	0	0	7	2	4	37	/			1	6	0	0	3	0	0	1	0	1	16	3	11	63			
	計	7	計	43	計	7				計	3	計	17	計	77											
成城大学から	0	2	41	0	2	5	/			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	4	57			
	計	43	計	7	計	6				計	0	計	6	計	62											
東京都市大学から	0	0	19	1	0	2	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	2	0	27			
	計	19	計	3	計	3	計	1	計	3	計	29														
東京農業大学から	0	0	23	3	0	2	0	0	0	0	20	0	0	6	/			3	20	31						
	計	23	計	5	計	20	計	6	計	54																
受入数合計	9	5	287	6	11	69	4	3	25	4	77	0	0	21	1	2	29	24	98	431						
	計	301	計	86	計	32	計	81	計	21	計	32	計	553												

※1 成城大学は、院生と学部生の区別はしていない。

②利用証（貸出登録）発行数（2013年4月～2014年3月）

発行先 発行館	国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			発行数 合計
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	
国士館大学より	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
駒澤大学より	0	0	3	3	1	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
昭和女子大学より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成城大学より	0	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
東京都市大学より	0	0	0	0	0	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13
東京農業大学より	0	0	1	1	1	1	0	0	4	0	0	2	0	0	2	0	0	1	12
身分別登録者数	0	1	9	3	1	12	3	1	12	0	2	2	0	0	2	2	0	4	
登録者 合計	10			14			16			4			2			6			52

※1 発行館＝受入館として利用証（貸出登録）を発行した館

※2 国士館大学図書館・情報メディアセンターは、利用証を発行しないで貸出を実施。

## Ⅱ 2013年度の委員会報告

### 1 図書館委員会報告

#### ■第1回■ 2013年6月5日(水)

##### <報告事項>

2012年度業務概要／2012年度図書館決算報告・2013年度図書館予算／2013年度貸倉庫新規預け入れについて／新入生ガイダンス報告／四大学相互利用実績について／前期試験期の日曜祝日臨時開館について／専任教員貸出資料の年度末確認作業について／成城大学リポジトリについて／選書ツアーについて／「図書館活用法」の途中経過について／学習用PCの増設について／会計検査院の実施検査結果について／ナトルプ文庫の脱酸処理について／アクティブラーニング施設改修工事などについて

##### <審議事項>

2013年度大学共通図書費について／2013年度学習図書費の配分(案)について

##### <その他>

図書館の中期計画(案)について

#### ■第2回■ 2013年7月17日(水)

##### <報告事項>

2013年度夏期休暇前後の図書館スケジュールについて／データベースセミナーについて／2013年度貸倉庫預け入れについて／「選書ツアー」について／アクティブラーニング施設改修工事関係について／第2世紀プラン教育研究改革特別事業の追加申請について／世田谷6大学相互利用について

##### <審議事項>

2013年度大学共通図書費について／学習図書費による電子資料(データベース)の購入について

##### <その他>

図書館施設の授業利用について

#### ■第3回■ 2013年11月20日(水)

##### <報告事項>

2014(平成26)年度図書館概算要求案について／大学共通図書費の執行状況について／学習図書費の執行状況について／雑誌定期継続購入の新規・中止リストについて／定期試験期の臨時開館について／春休み期間中の開館時間について／本年度貸倉庫新規預け入れ作業につ

いて／データベースセミナーについて／3号館雑誌室・書庫運営委員会について／その他  
①選書ツアーの資料展示について ②円安に伴う雑誌価格の高騰について

<審議事項>

学習図書費による電子資料（データベース等）の購入について

<その他>

アクティブラーニング施設、3号館雑誌室の利用者数について／図書館の地域開放について／  
冬期休暇中の開館について

■第4回■ 2014年2月19日（水）

<報告事項>

2014年度図書館予算について／2013年度学習図書費の執行状況について／2014年  
1月18日、19日の試験期の臨時開館について／2013年度ガイダンスの実施状況につい  
て／2013年度後期データベースセミナーについて／2013年度貸倉庫新規預け入れ作業  
及び2014年度預け入れ予定について／図書館地域開放について／年度末から新年度にかけ  
ての各種スケジュールについて／その他 ①学習図書費による電子資料（データベース等）の  
購入について ②四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領の一部改正について ③図書館  
主催講演会について ④2014年度冬期休暇中の開館日について ⑤アクティブラーニング  
エリア利用規程について ⑥選書（紀伊國屋書店）ツアーについて

<審議事項>

視聴覚資料の除籍について／図書館地域開放について

<その他>

専任教員貸出資料の年度末確認作業のお願いについて

## 2 運営会報告

■第1回■ 2013年4月1日（月）

会計監査について／図書館地区隊の再編成について／学習図書費による電子資料の購入について  
／各学部の資料担当者との打ち合わせについて／経済研究所との連携について／教員からの問い  
合わせについて／新人歓迎会について／研修の案内について／配架待ちの貴重書の移動について  
／文献検索ガイドについて／施設改修に伴う資料の移動について／蔵書点検の結果報告／新任教  
員への図書館ガイダンスについて／「図書館活用法」の広報について／研修分科会への参加につ  
いて／第2世紀プラン特別事業に関する法人への報告について／学位規則改正に伴う（博士論  
文）の取り扱いについて／図書館からの情報発信について

■第2回■ 2013年4月8日（月）

1階ワークルールの洗面台下の排水パイプのひび割れについて／本学の先生方が執筆した本等につ

いて／整理課内の問題点について／第2世紀ビジョンの実現に向けた中期計画について／専任教員の貸出資料リストの照合について／入職2年未満の事務職員の研修について／「利用者の声」について／五大学図書館懇談会の日程調整について／漢籍整理長期研修(東京大学主催)について／会計検査院の監査日程について／平成25年度の私立大学図書館協会について／学位規則の改正に伴う博士論文の取り扱いについて／旧制高等学校卒業生の図書貸出希望について／「図書館活用法」の職員参加について／業務委託時間帯の緊急時対応について

■第3回■ 2013年4月15日(月)

ナトルプ文庫について／昨年度より節電対応としている蛍光灯の点灯について／総務課全体の打ち合わせについて／2010年秋より実施しているNDC9版への移行について／経済研究所の貴重書の画像リンクについて／AVホールの利用者について／「資料・文献の探し方」について／アクティブラーニングICT機器の見学について／選書ツアーについて／図書館活用法(初日)の授業参加等について／学習用パソコンについて／新入生向け図書館ガイダンスの今後について／中期計画について

■第4回■ 2013年4月22日(月)

冷暖房用水の切り替えについて／第2世紀プランの一部工事について／「学習図書費による電子資料(データベース等)の購入についてのお知らせ」について／経済研究所の画像リンク等について／図書館外貸出可否識別マークについて／利用者の声にあった踏み台について／法学部教員のAVホール利用について／選書ツアーについて／五大学図書館懇談会について／次年度の新入生向け図書館ガイダンスについて／学生向けデータベース講習会について／資料預入のブラウジングについて／鶴見大学の学生によるアンケートについて／4月17日のICT機器の見学会について／英語多読コーナーのホームページ上のお知らせについて／授業に於ける図書館活用法の資料について／2階、3階の複写室内について

■第5回■ 2013年4月29日(月)

グループ学習室4の工事について／3号館雑誌室の工事について／火災報知器の検査日程について／会計検査院実地検査について／エアコンについて／ウィンドウズXP(OS)使用のパソコンについて／2013(平成25)年度第1回目の図書館委員会開催について／経済研究所所蔵貴重書の画像リンクについて／資料保存委員会への提案について／整理課員の研修について／整理課の業務について／貸倉庫預け入れ資料の選別について／選書ツアー等について／アクティブラーニング実施委員会報告ほか／バリアフリー委員会からの打診／4大学の相互利用者数について／法学部教員のAVホール利用について／書庫問題検討委員会の開催について／施設改修について／研修について／平成24年度私立大学の経常費補助の確認について／5月13日(月)の学園懇親会の参加者について／リポジトリの掲載件数について／次長事務長会議報告について／教員からの問い合わせについて／図書館内の無線LANについて／5月の全体会について

■第6回■ 2013年5月7日(火)

3号館雑誌室のブラインド工事について／平成25年度第1回目の図書館委員会について／会計検査院監査について／経済研究所所蔵資料の遡及作業について／3号館雑誌室の運用について／アクティブラーニング実施委員会報告／コミュニティカレッジ参加者のアンケートについて

て／選書ツアーについて／「利用者の声」の要望について／貸し倉庫預入れ資料のブラウジングについて／私立大学図書館協会の東地区部会総会について／図書館中期計画について

■第7回■ 2013年5月13日（月）

平成25年度第1回図書館委員会の開催日について／会計検査院による実地検査対象物及び監査日の対応者などについて／夏実施予定の館内清掃について／ナトルプ文庫の脱酸処理などについて／次年度の新入生オリエンテーション検討委員会について／バリアフリー委員会からの依頼について／「利用者の声」について／アクティブラーニング実施委員会報告／旧制高校卒業生の図書館利用について／選書ツアーについて／情報リテラシー教育ワーキンググループからの報告について／春休みの開館時間について／3号館雑誌室の運用について／コミュニティカレッジ受講者の図書館利用について／自己点検評価の基礎データ作成について

■第8回■ 2013年5月20日（月）

夏期間の旧館清掃について／会計検査院による実地検査の対応者などについて／平成25年度第1回目の図書館委員会開催内容について／トランシーバーの追加について／改修工事に伴う広報について／退職者について／多読コーナーの重複図書について／市河三喜先生寄贈の洋書整理について／eBookの受入について／図書館中期計画について／旧制高校卒業生の図書館利用（本の貸出し）について／学生企画の展示について／文芸学部非常勤教員の貴重書室利用について／貸倉庫預け入れの為の資料選別について／アクティブラーニング実施委員会報告／選書ツアーについて／学園が行う周年募金（寄付）について／レーザーディスク（約240枚）寄贈の申し出の件／大学院教務事項連絡会の件／漢籍整理長期研修（平成25年度）参加の件

■第9回■ 2013年5月30日（月）

データベースセミナーについて／工事等について／平成25年度第1回目の図書館委員会について／総務課のキャリアパワー派遣職員について／経済研究所の遡及作業について／著作権講習会他について／平成25年度の除籍について／中期計画について／選書ツアーについて／書庫問題について／アクティブラーニング実施委員会報告／会計検査院監査について／聞蔵Ⅱの説明会について／大学院教務事項連絡会について

■第10回■ 2013年6月3日（月）

平成25年度第1回目の図書館委員会配布資料（案）について／自己啓発援助制度の一環で行われる研修について／ブラウジングに伴う箱詰め作業について／学外協会のAVホール使用について／「利用者の声」について／私大図書館協会2013年度総会・研究大会について／漢籍担当職員講習会（京都大学人文科学研究所）について／第2世紀プラン教育研究改革特別事業の追加募集について／学園寄付者の図書館利用について／バーコードの重複について

■第11回■ 2013年6月10日（月）

夏期館内清掃の日時について／NTT（ビジネスフォン）の基盤の取替えと、地下1階換気扇点検作業について／データベースセミナーの開催について／私立大学図書館協会東地区部会総会及び関連諸会議への参加について／夏期勤務予定表について／7月中の臨時開館などについて／ブラウジングの箱詰めについて／ガイダンス担当者の協力要請について／後期の選書ツアーについて／アクティブラーニング実施委員会報告／文芸学部共用研究室の資料の返却について



て／第2世紀プラン特別事業枠の追加募集について／教員の購入希望によるeBookの取扱いについて／平成27年度の文芸学部の授業科目について／新入生ガイダンスについて／日本学術振興会特別研究員について／除籍対象資料について／6月11日（火）の全体会の報告内容について

■第12回■ 2013年6月17日（月）

地下3階、電動書架の基盤交換などの工事について／私立大学図書館協会東地区部会総会及び関連諸会議への参加報告について／2013年度第2回図書館委員会について／前期のセミナー開催について／EBSOの外国雑誌取次業務の停止について／アクティブラーニング施設改修工事などについて／経済研究所のデータ遡及（画像を含む）について／除籍済資料の利用について／利用者の声について／図書館内の人事異動などについて／第2世紀プラン特別事業枠の追加申請について／国際交流室からのシステム導入の提案について／3号館雑誌室の開室時間延長について／障がい者雇用プロジェクトについて／図書館中期計画の説明日程について／オープンキャンパス、入試相談会の出勤体制について／夏期休暇中における開館日の運用業務サポートについて

■第13回■ 2013年6月25日（火）

2013年度第2回図書館委員会開催通知について／消防設備の点検及び図書館内断水などについて／3号館雑誌室における開室時間延長に伴う業務について／第2世紀プラン教育研究改革特別事業（追加申請）などについて／リサイクル図書について／ナトルプ文庫の脱酸処理終了時期について／電子ブックの受入について／障がい者雇用プロジェクトの今後の予定について／電子化された紀要の取扱いについて／文芸学部共用研究室内の除籍済資料の取扱いについて（前回より継続）／バリアフリー実施委員会からの報告について／国際交流室からのシステム導入の提案について（前回より継続）／アクティブラーニング施設改修工事の見積りなどについて／前期試験期間中の図書館内の巡回について／文芸学部の授業について／7月12日（金）開催の「父母の会」の資料について／継続購入する雑誌の配架場所について／7月の全体会の開催日について

■第14回■ 2013年7月1日（月）

EBSOの海外定期刊行物取扱い業務停止について／7月1日付け採用者について／地下3階電動書架基盤交換工事について／研修について／平成26年度の新入生オリエンテーションについて／ナトルプ文庫の脱酸処理終了後の配架場所について／中期計画の説明について／学部が購入した雑誌の配架について／客員教授の利用資格について／AVホールの使用について／アクティブラーニング施設改修工事について／夏期勤務体制時の運用課業務のサポートについて／四大学運動競技大会時の図書館開館時間について／「図書館年報」第14号（2012）の発行時期について／貸倉庫預入資料の利用について

■第15回■ 2013年7月8日（月）

夏期勤務体制時の運用課業務のサポートについて／データベースセミナー開催後のアンケート項目について／図書館の地域開放について／第2回図書館委員会開催時の資料について／「図書館年報」第14号（2012）の作成について／非常勤講師からの図書資料購入希望について

て／旧館に配架されている雑誌の取扱いについて／アクティブラーニング施設改修工事について／ブラウジング後の箱詰めについて／高校訪問について／障がい者のインターンシップ受入について／自己点検評価及び自己点検評価報告書（仮原稿）について／契約職員に対する変則勤務の説明について／ナトルプ文庫の脱酸処理後の配架先について／3号館雑誌室・書庫運営委員会について

■第16回■ 2013年7月15日（月）

3号館雑誌室業務の説明会について／第2回図書館委員会について／重複バーコードの張替え作業について／節電対策について／平成26年度新入生オリエンテーションについて／経済研究所のデータ遡及（画像を含む）について／「利用者の声」について／ブラウジング後の箱詰めについて／アクティブラーニング施設改修工事に伴う撤去備品について／「選書ツアー」受入資料の展示について／防災訓練の説明会について／図書館の「利用案内」について／図書館の地域開放について／貴重書の基準について

■第17回■ 2013年7月22日（月）

一斉休暇期間中（アクティブラーニング施設改修工事）における鍵の取り扱いについて／7月21日（日）の臨時開館について／別冊コーナーの雑誌の移動について／アクティブラーニング施設の広報などについて／ナトルプ文庫の配架場所について／「利用者の声」について／第2世紀プラン教育研究改革特別事業（追加申請）について／省エネについて／「図書館活用法」について／新入生対象の図書館ガイダンスについて

■第18回■ 2013年9月23日（月）

防災訓練について／第2世紀プラン（追加予算分）について／洋雑誌の取扱い業者について／3号館雑誌室の休日・夜間の利用希望者について／2門（日本史）再整理とAV資料の遡及作業について／研修参加者について／ナトルプ文庫について／障がい者のインターンシップ受入について／前期「図書館活用法」について／2014年度新入生対象のオリエンテーションについて／自己点検評価について／アクティブラーニング施設の工事について／選書ツアーについて／「利用者の声」について／図書と重複していた雑誌のバーコードの張り替え作業について／科学研究費（文部科学省）の補助金について／9月14日（土）開催の父母懇談会について／リポジトリについて／第64回四大学運動競技大会時の業務依頼について／グループ学習室4にある絵について／平成26年度予算について／メディアネットワークセンター長からの問い合わせについて

■第19回■ 2013年9月30日（月）

3号館雑誌室でのOPAC利用について／6大学コンソーシアムの開催希望日程について／冷暖房運転の切り替えについて／平成26年度入学生データ受取などについて／9月24日（火）に実施された防災訓練について／経済研究所の遡及（画像を含む）作業について／図書館における自己点検評価及び自己点検評価報告書（仮原稿）について／ブラウジングについて／運用課のインターンシップについて／「利用者の声」について／学術認証について／科学研究費（文部科学省）の補助金について／五大学図書館懇談会について／大学刊行の定期刊行物に関する著作権の意見聴取について／「図書館年報」第14号（2012）について／留学生の「選書ツアー」への参加について／貸し倉庫預入れ資料のメールによる請求について／館内施設の予約状況につ

いて／アクティブラーニング施設（地下1階・2階・3階）の試験的開放について

■第20回■ 2013年10月7日（月）

3号館雑誌室の複写機利用について／成城大学新聞・ナトルプ文庫のデジタル化について（第2世紀追加プラン）／平成26年度予算の臨時的経費について／第15回図書館総合展の参加希望について／館内での撮影について／春休み期間中の開館時間について／10月3日（木）に実施した利用者向けのICT機器操作説明会について／選書ツアーの参加者について／科学研究費間接経費（文部科学省）の申請について／博士論文の取扱いについて／施設改修について／館内の無線LAN設置について／貸し出し用PCについて／次年度新入生オリエンテーションについて／館内の掲示物について／「図書館活用法」の授業評価について／ホームページ掲載情報について／アクティブラーニングエリアの有効活用について

■第21回■ 2013年10月14日（月）

平成26年度予算について／図書館の一般開放について／平成25年度第3回図書館委員会開催日程について／雑誌及びAV資料の遡及について／資料のデジタル化について／Newspaper Directのモニターとそのデータベース契約について／システム委員会からの報告について／図書館への通路の屋根の設置について／科学研究費間接経費（文部科学省）の申請について／図書館1階奥の旧館へ向かう扉の鍵について／書棚の増設について／選書ツアーの参加人数について／貸し出し用PCについて／文化祭期間中の出勤について／次年度の業務委託の予算について／アクティブラーニングエリアの利用申込み方法について／四大学運動競技大会期間中の出勤予定者について／文部科学省私学部長の図書館見学について／ホームページの改訂について／今年度の図書館総合展10月29日（火）～31日（木）への参加者について／「成城学園第2世紀プラン」の「まとめ」について／ジャパン・ナレッジのアクセス権増について／「アクティブラーニングエリア」の広報について／スチューデントアシスタント制度について／インターンシップの受入（10月9日（木）整理課、10日（金）運用課）の結果について／非常勤講師からの要望について

■第22回■ 2013年10月21日（月）

1階コピー室の改修について／平成26年度予算の臨時的経費について／平成25年11月22日（金）開催の五大学図書館懇談会について／重複バーコードの張替え作業について／購入予定の映像資料について／ナトルプ文庫の整理について／プレハブ倉庫にあるOECD、ILOの資料について／選書ツアー実施結果について／文化祭期間中のAVホール使用について／次年度予算について／図書館主催のデータベース利用講習会について／平成26年度予算学長ヒアリングについて／補助金の申請について／平成25年度「図書館活用法」の総括について／11月の全体会の開催について／「成城大学図書館年報 第14号（2012）」について／記入台の移設について

■第23回■ 2013年10月29日（火）

図書館主催のデータベース利用講習会について／地下1階配架の雑誌を3号館雑誌室へ移動する件について／世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会開催について／雑誌と図書の重複バーコードの張替え作業について／平成26年度予算について／ナトルプ文庫の目録について／経済研究所の遡及（画像を含む）について／1階アクティブラーニングエリア

の利用状況について／旧館にある中国語資料について／研修会、発表会、海外研修の案内について／文化祭時の危機管理体制について／学習図書費による電子資料（データベース）の購入について／アクティブラーニング実施委員会について／政策委員会・部長会開催時の代理出席について／3号館雑誌室の16時30分以降の利用状況について

■第24回■ 2013年11月5日（火）

ナトルプ文庫（平成25年度脱酸処理分）と成城大学新聞のデジタル化について／監査法人の業務聞き取り調査について／平成26年度図書館予算について／館内の漏電警報について／世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会について／3号館雑誌室の入室者数について／帙の背表紙のタイトル装備について／新刊雑誌の配架について／「利用者の声」について／館内設置のインフルエンザ予防の消毒液について／第38回五大学図書館懇談会資料について／携帯端末等の館内での充電について／科学研究費間接経費（文部科学省）について／平成25年度第3回図書館委員会の議題について／図書館主催の後期データベースセミナーについて

■第25回■ 2013年11月11日（月）

第3回図書館委員会の報告事項及び審議事項について／五大学図書館懇談会の議題の回答について／学習図書費で購入した洋書の配架について／大学体育館改修に伴う体育科貸出の図書、雑誌の扱いについて／貸倉庫預入資料のブラウジングについて／アクティブラーニング実施委員会について／文部科学省への補助金申請について／平成26年度の「図書館活用法」について

■第26回■ 2013年11月18日（月）

第3回図書館委員会の配布資料（案）について／データベース利用セミナーについて／学習図書費で購入した洋書の配架について／五大学図書館懇談会の担当者資料について／ナトルプ文庫の書誌データ公開について／図書の付属資料（DVD・CD・CD-ROM）の取扱いについて／共通教育研究センターにて購入した図書資料の遡及作業について／プレハブ倉庫内の和書の旧分類の整理について／2門（歴史）の再整理について／体育科貸出しの図書、雑誌について／旧館にある中国関係の図書資料について／3号館雑誌室に開架要望のあった雑誌について／「利用者の声」について／監査法人の業務聞き取り調査について／世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会について／3号館雑誌室・書庫運営委員会について／図書館の地域開放について／インターンシップ受入生徒からのお礼状について

■第27回■ 2013年11月25日（月）

3号館雑誌室の一時閉室について／平成26年度の学習図書費について／学習図書費で購入するデータベースの申請書について／デジタル化を予定しているナトルプ文庫、成城大学新聞の透かしについて／科学研究費補助金等間接経費（文部科学省）の申請について／電子化された洋雑誌の貸倉庫への預け入れについて／紀伊國屋書店のPOP作成企画について／施設利用時の学生証の取扱いについて／貴重書の指定、取扱いの基準について／自動PC貸出ロッカーの学生証の磁気読み取り不良について／図書館の地域開放について／冬休み期間中の開館要望について／図書館にてインターンシップ学生を受入れる場合について／12月の全体会について

■第28回■ 2013年12月2日（月）

大学図書館規則の改正について／学習図書費による電子資料（データベース等）の購入申請書について／地域開放について／2013年度（後期）開催のデータベースセミナーについて／科学研究費補助金等間接経費（文部科学省）について／デジタル化予定のナトルプ文庫、成城大学新聞の透かしについて／貴重書の取扱い基準（案）について／和装本の整理について／雑誌製本費の執行について／選書ツアーにて購入した図書とそのPOPの展示について／アクティブラーニングエリアについて／「利用者の声」について／図書館の氷蓄熱（空調機）について／図書館における目標設定について／次年度予算のヒアリングに向けて

■第29回■ 2013年12月9日（月）

「図書館年報」第14号（2012）について／AVホール用室外機のパイプ交換について／デジタル化予定のナトルプ文庫・成城大学新聞の透かしについて／図書館の臨時開館などについて／12月中のAVホールの学生利用日について／選書ツアーにて購入した図書とそのPOPの展示について／「携帯端末等の館内での充電への対応」について／入館者人数について／平成26年度入学者データの受取りについて／学園図書館図書室連絡会（仮称）の設置について／世田谷6大学コンソーシアムの学長懇談会について／「成城大学図書館貴重資料の指定基準」（案）「成城大学図書館貴重資料取扱い要領」（案）・「ナトルプ文庫の取扱いについて」（案）について／図書館の氷蓄熱（空調機）について／次年度の各課の目標設定について／アクティブラーニングエリアを利用した企画について

■第30回■ 2013年12月16日（月）

ヒヤリング後の平成26年度予算修正案について／ウィキペディアを複製した図書資料について／英語多読図書資料の整理方法について／学習図書費で購入した資料の貸出について／デジタル化予定のナトルプ文庫・成城大学新聞の透かしについて／平成26年1月19日（日）の臨時開館について／地下3階のナトルプ文庫の運用について／「利用者の声」について／AV資料（カセットテープ、16・8mmフィルム）について／預入資料のブラウジングについて／地域開放について／「成城大学図書館貴重資料の指定基準」ほかについて／選書ツアーにて購入した図書のPOP展示について／障がいのある入学予定者について／自己申告書の作成について

■第31回■ 2013年12月23日（月）

デジタル化予定のナトルプ文庫・成城大学新聞のファイル名について／地下3階の電動書架の管理について／経済研究所所蔵資料の遡及（画像を含む）作業について／科学研究費補助金等間接経費（文部科学省）で購入した資料について／試験期間中のプレゼンテーションルームの開放について／「利用者の声」について／「図書館活用法」ワーキンググループの報告／五大学図書館懇談会の議事録確認後の提出について／利用者からの苦情について／新刊雑誌の移設に伴う意見について／平成26年度のデータベース購入費用について／「図書館暦」のデジタル化について／平成26年度の年末、年始の開館日数について／非常勤教員の購入希望について／図書館独自の企画（講演会）の実施について／平成26年度の新任教員（専任、非常勤）対象の図書館ガイダンスについて

■第32回■ 2014年1月14日（火）

3号館雑誌室の利用者数について／「図書館暦」のデジタル化について／「図書館年報」第14号（2012）について／学習図書費によるデータベースの購入希望について／研究機構予算で購入した資料の登録について／貸出用PCの電源コードについて／除籍について／選書ツアーにて購入した図書のPOP展示について／「修士論文等の閲覧・複写許可のお願い」について／電子化された洋雑誌の預入について／地下2階の洋書のブラウジングについて／「利用者の声」について／四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領の一部修正について／監査法人による業務内容のヒヤリングについて／図書館の地域開放について／平成25年度第4回図書館員会開催について／新入生の学籍データのダウンロードについて／平成26年度の冬季休業期間の開館について

■第33回■ 2014年1月21日（火）

図書館の地域開放について／平成25年度第4回図書館委員会の議題確認について／除籍業務について／東洋文庫主催の和漢書書誌学実習の参加希望について／貸出用PCの充電不足について／地下2階に配架されている洋書のブラウジングについて／学習図書費で購入した資料の返却請求について／文部科学省の補助金制度の利用について／「世田谷6大学コンソーシアム運営委員会について／平成26年度の館内委員会について／「図書館年報」第14号（2012）について

■第34回■ 2014年1月27日（月）

図書館の地域開放について／EBSCO社の日本における洋雑誌取扱停止に伴う返金精算処理について／自己点検評価報告書について／バリアフリー委員会からの報告について／地下2階に配架されている洋書のブラウジングについて／各種研修会について／入学式・卒業式の業務について／世田谷6大学コンソーシアム運営委員会委員の成城大学図書館の見学について／広報委員会からの報告について／平成25年度卒業記念パーティーへの職員参加について／学園規則について／教員からの寄贈本について／図書館主催の講演会の開催について

■第35回■ 2014年2月3日（月）

図書館の地域開放について／EBSCO社の日本支社における洋雑誌取扱停止に伴う返金精算処理について／ナトルプ文庫の再撮影について／印刷・製本費について／地下2階配架の洋書の貸倉庫への預入について／アクティブラーニングエリア等の利用について／蔵書点検の実施予定日について／体育科貸出しの図書・雑誌の返却について／大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）総会への参加者について／入試広報部が作成する広報用のビデオ撮影について／アクティブラーニング施設の紹介について／私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校の就任依頼について

■第36回■ 2014年2月7日（金）

図書館の地域開放に向けた利用案内について／第4回図書館委員会の議題について／成城大学図書館利用規則について／視聴覚資料の除籍について

■第37回■ 2014年2月17日（月）

平成26年2月19日開催の「平成25年度第4回図書館委員会」資料について／各種研修会

への参加希望者について／図書館の空調機の電気使用量について／原簿の製本について／預入資料の箱詰め作業について／蔵書点検について／コミュニティー・カレッジ受講生への資料貸出について／学園図書館図書室連絡会（仮称）の開催について／館内掲示物について／学籍データのダウンロードについて／合格発表のための掲示板利用について／PC貸出しロッカーの学生証の読取り不具合について／図書館主催の講演会について／入試期間中の気づいた点、反省点について／AEDの講習会について／春休み期間中の開館時間延長に伴う入館者数について

■第38回■ 2014年2月24日（月）

漏電について／世田谷区民の図書館利用に関する書類の確認について／館内無線LAN設置工事について／デジタル化予定のナトルプ文庫と成城大学新聞の透かしについて／視聴覚資料の除籍について／図書館利用規則の改定について／「利用者の声」について／延滞に対する罰則の見直しについて／地下2階配架の洋書の貸倉庫への預入について／自動PC貸出しロッカーの学生証の読込みの不具合について／学園図書館図書室連絡会（仮称）について／学園報の原稿作成について／入試広報部にて制作する受験生向けのビデオについて／私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校（2017～2018年度）の就任について

■第39回■ 2014年3月5日（水）

法学部の雑誌遡及のための作業について／世田谷区民の図書館利用に関する振込関係書類等について／2010年度に購入契約した和・洋雑誌未着分の返金処理について／「利用者の声」について／図書館利用規則の改定について／OECD Student Ambassador（学生大使）に選出された本学学生の企画について／バリアフリー委員会の報告について／学籍データのダウンロード権限者について／学園図書館図書室連絡会（仮称）の参加者等について／図書館実習生の受入について／「図書館年報」第14号（2012）について

■第40回■ 2014年3月10日（月）

世田谷区民への図書館利用の広報について／図書館利用規則の改定について／平成26年度の「図書館活用法」、講演会開催のお知らせ配布について／図書館ホームページ上の「図書館年報」の掲載場所について／私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会委員（2014～2015年度）について／「Library Guide」（英語版）の改訂について／入試広報部にて制作する受験生向けビデオの撮影日について

■第41回■ 2014年3月17日（月）

世田谷区民の図書館利用への広報等について／前払処理をしている雑誌の未着・欠号分の精算処理について／管理課による4階事務室のエアコン調査について／監査法人による固定資産の実査について／和装本の取扱基準見直しに伴う貴重書室の配架見直しについて／「学びの森」コミュニティー・カレッジ受講生への休講期間中の図書の貸出しについて／学園高校生の大学図書館の利用について／延滞に対する罰則の見直しについて／新任教員へのお知らせについて／「Library Guide」（英語版）の更新について／平成26年度開講の「図書館活用法」の授業支援について／館長室の整理、貴重書室、館内の備品、掲示物などの管理、更新について／図書館ホームページ制作会社の選定について／館内委員会の構成について

■第42回■ 2014年3月24日（月）

館内冷暖房の切替えについて／バリアフリー委員会からの報告について／成城大学図書館利用規則について／私立大学図書館協会東地区の研究分科会への参加希望について／館内掲示物について／次年度館内委員会委員について／図書館主催の講演会について／新年度の大学院生に向けたガイダンスについて

### 3 3号館雑誌室・書庫運営委員会報告

■第1回■ 2013年7月2日（火）

送風機再配置後の書庫のカビ状況について／3号館雑誌室の什器（机、椅子など）の入替えについて／3号館雑誌室の夏期休暇中の開室日について／3号館雑誌室の入館者数について

■第2回■ 2013年11月12日（火）

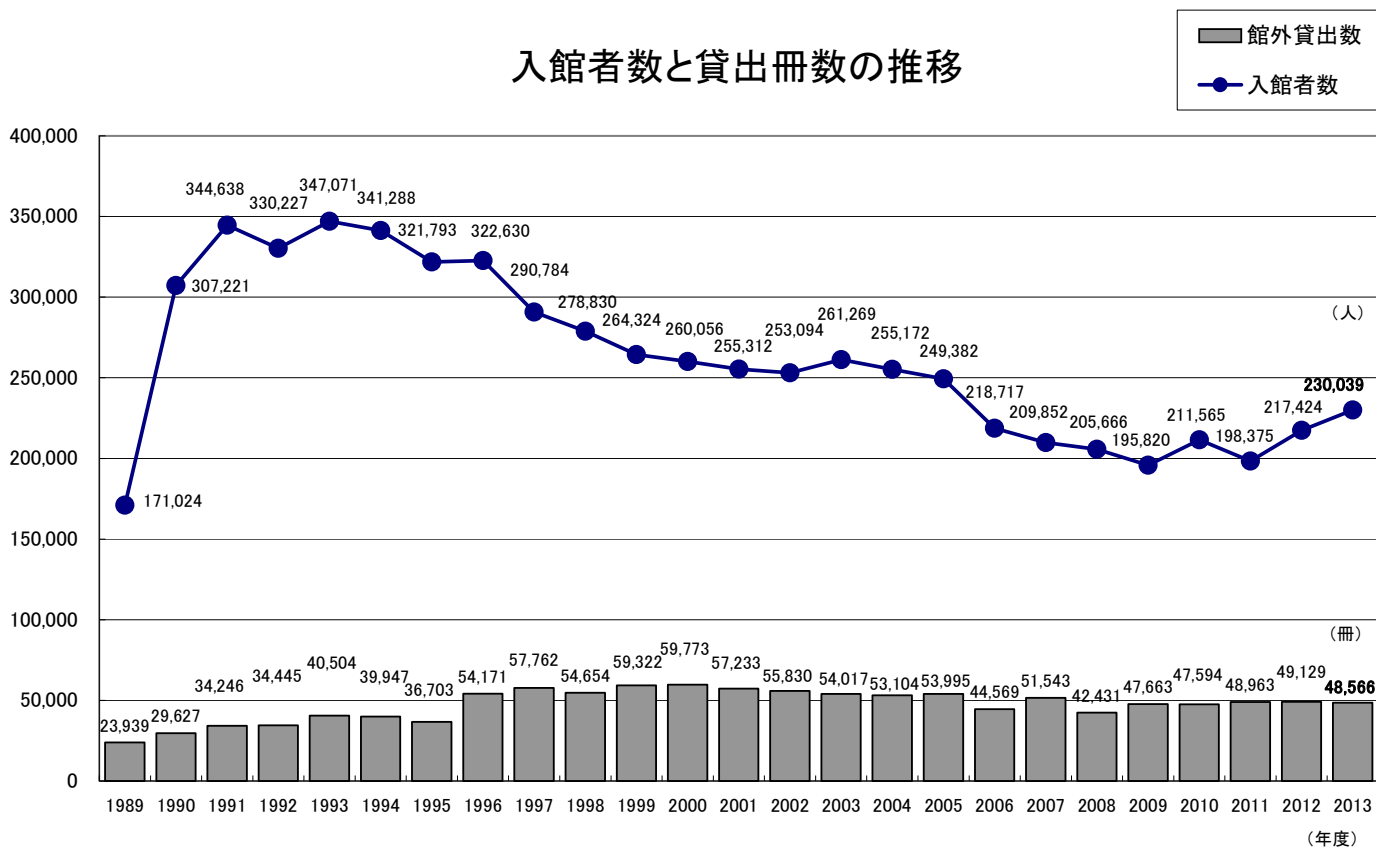
書庫の状況について



### Ⅲ 2013年度の図書館年次統計

#### 1 現況

##### (1) 利用状況



##### (2) 所蔵資料数

○図書	和洋図書	717,279 冊	(2013年度 増加数	13,311 冊)
			(2013年度 除籍数	599 冊)
○雑誌	雑誌 (バックナンバー)	139,133 冊	(2013年度 増加数	2,321 冊)
			(2013年度 除籍数	26 冊)
○AV資料	CD	22,579 枚	(2013年度 増加数	231 枚)
	LD	5,062 枚	(2013年度 増加数	0 枚)
	ビデオテープ	7,045 巻	(2013年度 増加数	5 巻)
	DVD・Blu-ray	13,522 枚	(2013年度 増加数	649 枚)
	レコード	7,988 枚	(2013年度 増加数	0 枚)
	カセットテープ	2,452 本	(2013年度 増加数	0 本)
○特殊資料	CD-ROM・DVD-ROM等	2,571 点	(2013年度 増加数	122 点)
	マイクロ資料	28,943 点	(2013年度 増加数	279 点)

(3) 電子情報資源種類数

(2013)

	和	洋	計
電子ジャーナル (タイトル数)	613	12,099	12,712
電子ブック (タイトル数)	0	198	198
データベース (パッケージ数)	16	16	32

(4) リポジトリ登録件数

(2013)

紀要論文	研究報告書	図書館年報	計
2,869	65	1	2,935

(5) 雑誌所蔵種類数

(2013)

	和雑誌	洋雑誌	計
雑誌	3,522	2,375	5,897
大学紀要	2,888	42	2,930
新聞	4	5	9
計	6,414	2,422	8,836

(6) 継続受入雑誌種類数

(2013)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
雑誌	610	220	830	873	6	879	1,709
大学紀要	2	1,179	1,181	0	22	22	1,203
新聞	12	1	13	7	0	7	20
計	624	1,400	2,024	880	28	908	2,932

(7) AV・マイクロ累積タイトル数

(2013)

媒体	マイクロフィルム	カセットテープ	ビデオテープ	CD	LD	DVD	Blu-ray	レコード
前年度タイトル数	317	568	2,371	20,387				6,899
2013年度増加分	2	0	5	181	0	380	63	0
合計	319	568	2,376	21,011				6,899

映画フィルム	スライド	HDD	フラッシュメモリー	CD-ROM	DVD-ROM	フロッピー・磁気テープ	合計
119	66	8	0	564		24	31,323
0	0	0	0	3	4	0	638
119	66	8	0	571		24	31,961

\*継続分を除く、新規タイトル数の累積点数。

\*タイトル数については、集計開始時より媒体合算のものもあるため、そのまま媒体合算集計とする。

## 2 受入報告

### (1) 図書受入報告

(2013)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	1,976	25,456,378	2,230	40,039,765	4,206	65,496,143
資産外図書	1,895	10,872,851	565	6,922,002	2,460	17,794,853
学習図書	4,300	12,607,798	1,229	2,518,709	5,529	15,126,507
私大助成	0	0	43	1,000,000	43	1,000,000
間接科研費	2	2,500,000	0	0	2	2,500,000
寄贈	805	805,000	216	432,000	1,021	1,237,000
編入	45	65,208	5	12,609	50	77,817
合計	9,023	52,307,235	4,288	50,925,085	13,311	103,232,320

※資産外図書の冊数・金額には、電子ブックの購入分（和書17点、213,360円、洋書0点、0円）も含む。

### 除籍報告

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	233	121,088	24	291,783	257	412,871
資産外図書	80	-	22	-	102	-
学習図書	219	-	2	-	221	-
私大助成	0	0	0	0	0	0
寄贈	13	15,017	4	8,000	17	23,017
編入	2	-	0	-	2	-
合計	547	136,105	52	299,783	599	435,888

### (2) 雑誌受入報告

(2013)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	135	3,271,494	111	2,639,695	246	5,911,189
製本編入	1,251	2,285,390	824	1,470,840	2,075	3,756,230
私大助成	0	0	0	0	0	0
合計	1,386	5,556,884	935	4,110,535	2,321	9,667,419

購入[資産外]	-	17,781,420	-	73,511,494	-	91,292,914
その他の編入（発見）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（移管）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	-	0	-	0	-

### 除籍報告

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	0	0	1	5,130	1	5,130
製本編入(H.4以降)	24	40,990	1	1,650	25	42,640
私大助成	0	0	0	0	0	0
小 計	24	40,990	2	6,780	26	47,770

製本編入 (H.3以前)	103	-	0	-	103	-
その他の編入（発見）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（移管）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
購入 [資産外]	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	-	0	-	0	-

## (3) AV・マイクロ受入報告

(2013)

	資産		資産外		学習図書		寄贈	編入	合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	数量		
マイクロリール	110	2,260,000	0	0	74	1,324,250	0	0	184	
マイクロフィッシュ	9	1,240,000	0	0	0	0	0	0	9	
マイクロリール	間接科研費	86	2,076,900						86	
マイクロリール	私大助成	0	0						0	
マイクロフィッシュ	私大助成	0	0						0	
マイクロ 小計	205	5,576,900	0	0	74	1,324,250	0	0	279	
CD-ROM	私大助成	0	0						0	
DVD-ROM	私大助成	3	1,320,000						3	
HDD	私大助成	0	0						0	
CD		0	0	13	10,384	216	492,247	2	0	231
カセット		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ		0	0	0	0	0	0	5	0	5
LD		0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD		0	0	108	1,705,518	428	4,300,526	10	0	546
Blu-ray		0	0	0	0	103	587,881	0	0	103
レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM		0	0	50	1,515,872	0	0	10	0	60
DVD-ROM		56	797,517	3	465,360	0	0	0	0	59
マイクロ以外 小計	59	2,117,517	174	3,697,134	747	5,380,654	27	0	1,007	
合計	264	7,694,417	174	3,697,134	821	6,704,904	27	0	1,286	

※2013年度はAV資料の除籍を行わなかった。

## (4) 学習図書年度別受入一覧

(2013)

年度	和書 (冊数)	洋書 (冊数)	図書合計	雑誌 (冊数)	A V 資料 (点数)	マイクロ資料 (リール・箱)
1983	4,222	40	4,262	23	6	0
1984	6,220	226	6,446	28	10	578
1985	6,814	129	6,943	44	190	882
1986	7,170	273	7,443	95	332	851
1987	6,499	857	7,356	48	333	792
1988	5,298	134	5,432	0	505	717
1989	4,839	219	5,058	0	607	992
1990	4,811	249	5,060	0	1,046	162
1991	5,003	289	5,292	0	1,418	217
1992	4,645	221	4,866	0	1,775	313
1993	4,971	233	5,204	0	1,318	508
1994	4,705	179	4,884	0	1,015	199
1995	4,473	149	4,622	0	1,277	130
1996	5,515	120	5,635	0	1,424	57
1997	5,247	204	5,451	0	1,237	64
1998	4,832	116	4,948	0	1,472	81
1999	4,953	192	5,145	0	1,613	70
2000	4,543	185	4,728	0	1,705	86
2001	4,387	153	4,540	0	1,882	140
2002	4,984	184	5,168	0	1,685	136
2003	4,623	248	4,871	0	2,017	72
2004	4,049	329	4,378	0	1,988	81
2005	3,843	649	4,492	0	2,469	91
2006	3,907	306	4,213	0	1,892	129
2007	4,497	152	4,649	0	1,159	347
2008	4,481	270	4,751	0	1,567	193
2009	4,982	223	5,205	0	1,648	131
2010	5,089	216	5,305	0	1,344	94
2011	5,183	158	5,341	0	1,136	72
2012	5,275	595	5,870	0	950	69
2013	4,300	1,229	5,529	0	747	74
合計	154,360	8,727	163,087	238	37,767	8,328

毎年全学生から学習図書整備費として特別に徴収された資金により、学生の勉学に必要なと思われる資料を選定し購入している。この制度は、1983年度より実施されている。

### 3 整理業務統計

#### (1) 図書整理冊数

(2013)

	和書	洋書	小計
新規	13,045	7,701	20,746
再整理	3,696	290	3,986
遡及(内部)	203	13	216
遡及(外注)	0	0	0
合計	16,944	8,004	24,948

#### (2) 修士論文整理冊数

(GM45)

	専攻	件数	冊数
経済学研究科	経済学/経営学	5	5
文学研究科	国文学	3	3
	英文学	1	1
	日本常民文化	6	6
	美学・美術史	6	7
	コミュニケーション学	2	2
	ヨーロッパ文化	2	2
法学研究科	法律学	2	2
社会イノベーション研究科	社会イノベーション学	4	4
合計		31	32

#### (3) 博士論文整理冊数

(2013)

	今年度		累計	
	件数	冊数	件数	冊数
経済学	1	1	5	5
文学	2	3	33	41
法学	1	1	8	8
合計	4	5	46	54

#### (4) N I I 登録件数

(2013)

	和書 および 洋書	累計
書誌新規登録	428	3,694
所蔵新規登録	19,897	183,427

#### (5) AV・マイクロ点数

(2013)

	映像資料	録音資料	電子資料	マイクロ資料	合計
新規	614	173	61	287	1,135
遡及(内部)	0	983	0	0	983
合計	614	1,156	61	287	2,118

4 運用業務統計

(1) 入館者統計

(2013)

	開館日数	学 生	教 職 員	中 高 生	高 校 生	学 習 院		成 蹊		武 蔵		国 士 館		駒 澤		昭 和 女 子		東 京 農 業		東 京 都 市		学 外 者	合 計		
						教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生				
4月	25	16,776	945	0	3	1	3	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0	0	3	1	0	243	17,980
5月	23	20,736	1,031	1	154	0	3	0	0	3	1	4	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	0	493	22,430
6月	25	22,279	1,040	4	40	0	10	0	5	0	6	5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	536	23,927
7月	29	40,161	1,134	0	82	0	8	0	9	1	7	3	1	14	0	3	0	0	0	0	0	0	0	340	41,763
8月	12	1,501	200	0	5	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	143	1,853
9月	23	9,075	652	0	10	1	8	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	190	9,941
10月	27	21,741	1,088	2	96	4	4	0	2	0	7	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	452	23,398
11月	24	24,725	876	4	69	0	10	0	1	0	10	0	0	1	0	1	0	1	0	5	0	0	0	397	26,099
12月	20	23,375	847	0	60	0	3	0	2	0	3	2	0	6	0	6	0	0	0	2	0	0	0	249	24,549
1月	22	31,252	742	2	2	0	13	0	3	0	7	1	0	1	0	1	0	0	8	0	0	0	0	198	32,229
2月	20	2,592	486	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	134	3,216
3月	25	2,022	472	0	3	0	0	0	1	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	2,654
合計	275	216,235	9,513	13	524	6	63	0	25	4	49	1	22	1	29	1	6	0	20	0	1	0	0	3,526	230,039

## (2) 月別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2013)

図書館配架区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3 F	994	1,532	1,656	2,929	544	1,263	2,128	2,651	2,611	2,137	390	204	19,039
3 F 大型本	2	5	15	6	3	1	6	18	7	12	1	5	81
3 F ガイドブック	63	85	71	79	20	47	78	57	44	60	39	15	658
2 F	1,257	1,885	1,994	3,079	648	1,691	2,364	2,770	2,744	2,268	469	276	21,445
岩波文庫(2 F)	75	66	79	99	16	71	112	101	136	59	30	20	864
岩波新書(2 F)	28	45	60	58	15	29	60	82	73	60	15	1	526
文庫クセジュ(2 F)	6	7	4	13	3	8	12	19	24	5	0	2	103
2 F 大型本	9	14	19	36	11	9	11	18	24	34	2	0	187
1 F 参考図書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 2 F	30	41	29	29	3	32	45	44	51	28	2	8	342
B 2 F 英語多読コーナー	43	142	53	160	16	114	80	22	29	17	3	0	679
貴重書室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4
B 3 F	240	391	408	552	107	369	512	466	522	365	184	147	4,263
B 3 F 大型本	3	3	5	16	5	13	10	9	8	2	3	2	79
B 3 F 未配架	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
B 3 F 貴重書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧館6層	0	2	0	6	0	1	0	2	2	1	0	0	14
旧館5層	1	3	2	3	1	1	4	6	6	2	5	0	34
旧館3層	0	0	2	2	0	2	1	3	4	2	1	1	18
旧館1層	6	34	21	21	11	13	26	28	16	16	11	2	205
旧館1層大型本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倉庫	0	0	3	1	0	3	6	5	5	0	0	0	23
貸倉庫2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,758	4,255	4,422	7,089	1,403	3,667	5,456	6,301	6,306	5,069	1,157	683	48,566



## (3) 分野別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2013)

	図書資料分野区分											計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学/工業	産業	芸術	語学	文学	その他	
学生	718	2,733	3,417	12,632	968	931	1,865	4,915	2,530	5,225	0	35,934
大学院生	69	354	360	1,371	131	80	133	637	172	660	0	3,967
非正規生	19	120	199	149	29	11	17	69	36	56	0	705
教職員	94	257	330	1,539	151	159	129	152	45	393	0	3,249
大学専任教員	51	175	162	564	52	44	40	277	66	422	0	1,853
大学非常勤教員	133	177	405	628	123	63	77	228	179	461	0	2,474
四大学	0	0	2	14	0	0	2	0	0	0	0	18
成蹊大学	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	8
武蔵大学	0	10	3	7	0	0	1	1	3	1	0	26
国士舘大学	0	2	0	6	1	2	1	0	0	4	0	16
駒澤大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
昭和女子大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京農業大学	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	8
東京都市大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卒業生	3	7	4	78	3	0	5	8	8	7	0	123
大学院修了者	8	12	15	23	21	7	1	22	11	49	0	169
学園中学・高校生	0	0	4	0	0	1	0	7	1	2	0	15
小計	1,095	3,847	4,902	17,026	1,479	1,298	2,272	6,316	3,051	7,280	0	48,566
比率	2.3%	7.9%	10.1%	35.1%	3.0%	2.7%	4.7%	13.0%	6.3%	15.0%	0.0%	100.0%

## (4) ベストリーダー 年間貸出回数 上位30位まで

(2013)

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
1	新国際法講義	森川俊孝, 佐藤文夫編著	北樹出版	38
2	現代独和辞典	ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実共編	三修社	27
3	美学辞典	佐々木健一著	東京大学出版会	24
4	パミラ、あるいは淑徳の報い	サミュエル・リチャードソン著；原田範行訳	研究社	22
5	日本人の宗教と動物観：殺生と肉食	中村生雄著	吉川弘文館	21
5	シェイクスピアとエンブレム：人文主義の文化的基層	松田美作子著	慶応義塾大学出版会	21
5	新生活運動と日本の戦後：敗戦から1970年代	大門正克編著	日本経済評論社	21
8	暮らしの革命：戦後農村の生活改善事業と新生活運動	田中宣一編著；富田祥之亮〔ほか〕著	農山漁村文化協会	20
8	現代フアイナンス論：意思決定のための理論と実践 -- 第2版	ツグイ・ボグデイ〔ほか〕著；大前恵一朗訳	ピアソン桐原	20
8	たのしい刑法 1	島伸一編	弘文堂	20
8	憲法 -- 第3版	伊藤真著	弘文堂	20
12	日常性の環境美学	西村清和編著；Junko Nagano〔ほか〕著	勁草書房	19
12	ゼロからの美学	淺沼圭司著	勁草書房	19
12	伊藤真の刑法入門：講義再現版 = The guide to criminal law -- 第4版	伊藤真著	日本評論社	19
15	舟を編む	三浦しをん著	光文社	18
15	新スタンダード仏和辞典	鈴木信太郎〔ほか〕著	大修館書店	18
15	日本書紀 3	小島憲之〔ほか〕校注・訳	小学館	18
15	音楽未来形：デジタル時代の音楽文化のゆくえ	増田聡, 谷口文和著	洋泉社	18
19	伊藤真の行政法入門：講義再現版	伊藤真著	日本評論社	17
19	旺文社レクシス英和辞典	花本金吾, 野村恵造, 林龍次郎編	旺文社	17
21	スタンダード仏和辞典 -- 増補改訂版	鈴木信太郎〔ほか〕著	大修館書店	16
21	日本霊異記	〔景戒撰述〕；中田祝夫校注・訳	小学館	16
21	古事記	山口佳紀, 神野志隆光校注・訳	小学館	16
21	アイデンティティの音楽：メディア・若者・ポピュラー文化	渡辺潤著	世界思想社	16
21	刑法総論 -- 第3版	伊藤真著	弘文堂	16
21	債権総論 -- 第3版	伊藤真著	弘文堂	16
27	演劇は仕事になるのか？：演劇の経済的側面とその未来	米屋尚子著	彩流社	15
27	統計学が最強の学問である	西内啓著	ダイヤモンド社	15
27	フィレンツェの世紀：ルネサンス美術とパトロンの物語	石鍋真澄著	平凡社	15
27	グリム童話：子どもに聞かせてよいか？	野村法著	筑摩書房	15
27	会話クラス；1冊めの中国語	劉穎, 喜多山幸子, 松田かの子著	白水社	15

## (5) 閉架書庫内図書月別利用統計

(2013)

	学生(含院生)		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	12	18	0	0	1	1	4	7	6	13	23	39
5月	48	90	1	1	1	2	2	3	9	22	61	118
6月	63	96	1	1	2	2	2	3	7	17	75	119
7月	73	96	1	2	0	0	1	1	13	27	88	126
8月	11	13	0	0	0	0	0	0	5	6	16	19
9月	41	69	0	0	0	0	0	0	0	0	41	69
10月	84	121	0	0	0	0	0	0	5	9	89	130
11月	111	184	2	2	0	0	3	7	7	8	123	201
12月	99	156	0	0	0	0	1	1	3	4	103	161
1月	44	76	0	0	0	0	1	1	5	6	50	83
2月	7	16	0	0	0	0	0	0	3	4	10	20
3月	9	28	0	0	0	0	0	0	6	27	15	55
合計	602	963	5	6	4	5	14	23	69	143	694	1,140

\* 閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

\* 専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

## (6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計

(2013)

	学生(含院生)		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	5	5	0	0	1	1	0	0	4	19	10	25
5月	19	19	1	1	4	7	0	0	2	2	26	29
6月	11	11	0	0	0	0	0	0	4	15	15	26
7月	1	1	0	0	0	0	0	0	4	11	5	12
8月	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	5	5
9月	17	23	1	1	1	1	0	0	1	1	20	26
10月	19	40	0	0	0	0	0	0	4	7	23	47
11月	23	24	0	0	0	0	0	0	7	8	30	32
12月	13	13	0	0	0	0	0	0	4	8	17	21
1月	4	6	0	0	0	0	0	0	1	1	5	7
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	1	2	0	0	0	0	2	2	3	4
合計	116	146	3	4	6	9	0	0	34	75	159	234

\* 人数=雑誌閲覧請求者数、総数=雑誌閲覧請求冊数。

\* 閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

\* 専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

(7) 貸倉庫預入資料利用統計

資料種別		2013年度 預入箱数	2013年度 戻入箱数	2013年度末 預入箱数	2013年度 利用請求冊数
図書	和書	635 箱	3 箱	2,747 箱	291 冊
	洋書	422 箱	0 箱	4,291 箱	118 冊
雑誌	Times (*)	0 冊	0 冊	578 冊	0 冊
	その他	20 箱	0 箱	208 箱	0 冊
AV資料		48 箱	0 箱	301 箱	182 冊
学園関係資料		0 箱	0 箱	90 箱	0 冊
合計		1,125 箱	3 箱	8,215 箱	591 冊

(\*)はTimes(オリジナルの大型本)で預入単位は冊数、その他は箱単位である。  
貸倉庫への預入開始は1996年度からである。

(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳

(2013)

	短大資料	短大以外資料
和書	80 冊	210 冊
洋書	13 冊	107 冊
雑誌	0 冊	0 冊
AV	0 冊	182 冊
学園	0 冊	0 冊
合計	93 冊	499 冊

(9) 研究室別貸出図書統計

研究室名		2013年度末 貸出冊数		
		和書	洋書	計
大学院	法学	7	0	7
	国文	3,942	5	3,947
	英文	10	607	617
	日本常民文化	1,569	307	1,876
	美学美術史	425	605	1,030
	コミュニケーション	77	2,860	2,937
	ヨーロッパ文化	16	559	575
	社会イノベーション	0	0	0
	計	6,046	4,943	10,989
資料室等	経済共用研究室	1,636	794	2,430
	文芸共用研究室	14,102	4,098	18,200
	文芸学部資料室	498	10	508
	法学資料室	5,449	16,120	21,569
	法学部専任教員室	16	0	16
	社イノ研究事務室	62	86	148
	体育科	225	13	238
	共通教育研究センター	521	8	529
		計	22,509	21,129
研究所	民俗学研究所	19	0	19
	経済研究所	0	4,150	4,150
	教育研究所	740	686	1,426
		計	759	4,836
	総計	29,314	30,908	60,222

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

## (10) 研究室別貸出雑誌統計

研究室名		2013年度末 カレント雑誌貸出冊数				2013年度末 製本雑誌貸出冊数			
		和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計	和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計
大学院	法 学	2,274	0	0	2,274	1	0	0	1
	国 文	8	0	0	8	0	0	0	0
	英 文	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本常民文化	20	305	0	325	0	0	0	0
	美学美術史	0	17	0	17	0	0	0	0
	コミュニケーション	0	2	0	2	0	0	0	0
	ヨーロッパ文化	24	106	35	165	0	14	0	14
	社会イノベーション	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,326	430	35	2,791	1	14	0	15
資料室等	経済共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸学部資料室	11	0	0	11	0	0	0	0
	法学資料室	7,645	19,686	3,450	30,781	6,687	5,114	5,844	17,645
	法学部専任教員室	37	18	0	55	0	0	0	0
	社イノ研究事務室	5	0	0	5	0	0	0	0
	体 育 科	1,899	420	545	2,864	1	0	7	8
	共通教育研究センター	3	0	0	3	0	0	0	0
	計	9,600	20,124	3,995	33,719	6,688	5,114	5,851	17,653
研究所	民俗学研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済研究所	0	49	0	49	0	0	0	0
	教育研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	49	0	49	0	0	0	0
総 計		11,926	20,603	4,030	36,559	6,689	5,128	5,851	17,668

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

## (11) 施設利用統計

(2013)

	研究個室			グループ学習室	共同研究室
	利用件数	継続人数	継続日数	利用件数	利用件数
4月	105	13	86	15	10
5月	138	22	121	32	13
6月	126	19	125	21	10
7月	164	21	127	121	14
8月	32	6	35	0	6
9月	61	6	37	11	8
10月	150	18	95	49	16
11月	101	13	91	108	7
12月	96	20	124	89	13
1月	108	14	95	102	10
2月	37	7	44	10	16
3月	44	5	35	7	6
合計	1,162	164	1,015	565	129

1. 研究個室は2Fに12室、3Fに10室ある。利用対象は大学院生と教職員。継続人数・日数の数値は、継続利用できる6室の統計。
2. グループ学習室はB1Fに4室あるうち、利用申し込みが必要な3室の統計。利用対象は学部生。9月以降は大学院生と教職員も利用可能。
3. 共同研究室は2F、3Fそれぞれ1室ある。利用対象は大学院生と教職員。9月以降はプレゼンテーションルームに名称変更し、学部生も利用可能。

## (12) 貴重書室利用統計

(2013)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
		0	2	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0

## (13) 3号館雑誌室・書庫利用統計

(2013)

	開室日数	入室者数	日平均入室者数	出納件数	
4月	25	396	16	7	
5月	23	388	17	16	
6月	25	454	18	19	
7月	27	891	33	11	
8月	6	47	8	1	* 1
9月	18	515	29	3	
10月	27	864	32	9	
11月	24	1,142	48	27	
12月	20	1,541	77	14	* 2
1月	20	1,726	86	5	
2月	20	203	10	3	
3月	25	196	8	3	
合計	260	8,363	32	118	

\* 小数点以下を四捨五入

\* 1. 8/12 ~ 8/18 : 夏期一斉休暇

\* 2. 12/25 ~ 1/6 : 冬期休暇



(14) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計

臨時開館日	入館者数	開館時間
2008年 1月13日(日)	102	9:00~16:00
1月14日(祝)	131	9:00~16:00
7月13日(日)	220	9:00~16:00
7月20日(日)	231	9:00~16:00
2009年 1月11日(日)	76	9:00~16:00
1月12日(祝)	103	9:00~16:00
7月19日(日)	211	9:00~16:00
7月20日(祝)	436	9:00~16:00
2010年 1月16日(土)	346	9:00~16:00
1月17日(日)	316	9:00~16:00
7月18日(日)	244	9:00~17:00
7月19日(祝)	495	9:00~17:00
2011年 1月15日(土)	311	9:00~17:00
1月16日(日)	215	9:00~17:00
7月24日(日)	122	9:00~17:00
7月31日(日)	58	9:00~17:00
2012年 1月14日(土)	202	9:00~17:00
1月15日(日)	179	9:00~17:00
7月22日(日)	252	9:00~17:00
7月29日(日)	123	9:00~17:00
2013年 1月19日(土)	208	9:00~17:00
1月20日(日)	198	9:00~17:00
7月21日(日)	164	9:00~17:00
7月28日(日)	153	9:00~17:00
2014年 1月18日(土)	308	9:00~17:00
1月19日(日)	239	9:00~17:00

\*2008年1月から試験対策として試験期間前または試験期間中の日曜・祝日等を対象に臨時開館を開始した。

\*後期試験の直前に開館した方が、学生へのメリットが多いと判断し、2009年度には関係部局の了解のもとでセンター試験当日に1時間延長して開館した。

## 5 参考業務統計

### 図書館間相互協力

単位は件数

サービス種別		文書による調査		文献複写		閲覧願	
		2012年度	2013年度	2012年度	2013年度	2012年度	2013年度
受付	他大学から	49	52	657	565	35	33
	大学以外から	12	12	27	49	4	8
	国外から	0	0	14	13	0	0
	受付小計	61	64	698	627	39	41
依頼	他大学へ	55	64	554	311	43	42
	大学以外へ	11	6	48	43	2	1
	国外へ	0	0	20	15	0	0
	依頼小計	66	70	622	369	45	43
合計 受付+依頼		127	134	1,320	996	84	84

サービス種別		資料貸借	
		2012年度	2013年度
受付（貸出）	他大学から	148	128
	大学以外から	15	8
	国外から	5	1
	受付（貸出）小計	168	137
依頼（借受）	他大学へ	189	182
	大学以外へ	3	15
	国外へ	2	2
	依頼（借受）小計	194	199
合計 受付+依頼		362	336

6 AV資料等運用業務統計

(1) AVマイクロ資料利用統計

(2013)

開室日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
		21	23	25	27	12	23	27	24	20	20	19	25	266日	
種別	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2件	
	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3件	
	2	5	3	1	3	1	0	2	0	0	3	6	0	24件	
	3	2	1	1	5	2	0	2	1	0	1	1	0	16件	
	4	1	1	0	16	2	0	0	1	1	0	0	0	22件	
	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1件	
	6	2	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	9件	
	7	映画	516	664	771	656	75	257	701	673	531	321	53	59	5,277件
		その他	168	235	238	240	17	79	211	181	162	92	17	12	1,652件
	8	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7件
	9	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6件
	持ち込み	21	71	85	49	2	8	22	14	25	21	2	0	0	320件
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1件
	小計	720	981	1,099	974	99	346	939	871	720	441	79	71	7,340件	
オーディオ資料	古典音楽	8	9	9	7	0	0	7	2	1	6	0	0	49件	
	その他音楽	4	7	5	6	0	1	3	3	4	1	0	0	34件	
	語学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	文芸	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5件	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	持ち込み	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2件	
	付属資料	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2件	
	小計	12	16	16	18	0	1	10	5	7	7	0	0	92件	
ROM	新聞	1	0	1	0	3	0	0	0	5	0	0	0	10件	
	持ち込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	小計	1	0	1	0	3	0	0	0	5	0	0	0	10件	
マイクロ資料	新聞	46	29	3	12	4	4	38	20	5	0	26	45	232件	
	その他	0	0	0	0	0	2	0	0	3	1	0	0	6件	
	持ち込み	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	2	7件	
	小計	46	29	3	12	4	6	39	21	8	4	26	47	245件	
資料総計		779	1,026	1,119	1,004	106	353	988	897	740	452	105	118	7,687件	

開架CDのオーディオソファアでの利用を除く

(2) AVホール利用統計

(2013)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	13	12	20	9	0	2	13	10	15	4	1	1	100件

新入生ガイダンスでの利用を除く

(3) AVゾーン利用者別統計

(2013)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
利用者	学生	943	1,265	1,333	1,179	82	372	1,217	1,110	882	508	60	65	9,016人
	大学教員	8	5	15	7	4	3	5	7	7	8	1	2	72人
	学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	全学職員	2	1	3	0	1	0	0	0	2	1	1	0	11人
	その他	1	13	19	17	2	5	9	9	9	5	5	1	95人
合計		954	1,284	1,370	1,203	89	380	1,231	1,126	900	522	67	68	9,194人

(4) マイクロ資料利用者別統計

(2013)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
学生		4	1	0	0	0	0	6	5	3	0	5	2	26人
大学教員		1	2	0	3	1	4	2	0	1	2	1	2	19人
学園教員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
全学職員		1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5人
その他		0	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6人
合計		6	9	3	3	1	4	8	5	5	2	6	4	56人

(5) 保守点検等

- ・AVホール保守点検（2014年2月3日）
- ・AVゾーン保守点検（2014年2月4日）

## 7 図書館機械化の経緯と現状

### (1) システム導入の経緯

1. 1994. 9. 1 CALIS基本システム 導入
2. 1995. 12. 1 OPAC用端末 3台 開放
3. 1995. 1. 1 洋書閲覧用カード 凍結
4. 1995. 7. 30 データ遡及入力の外注開始
5. 1995. 9. 26 学内LAN設置 (インターネット接続)
6. 1995. 10. 30 学術情報センターCAT 接続完了
7. 1995. 11. 1 学術情報センター接続システム 導入
8. 1996. 1. 1 和書閲覧用カード 凍結
9. 1996. 1. 30 ネットワーク用OPAC 導入
10. 1996. 2. 23 学術情報センターへの所蔵登録 開始
11. 1996. 3. 1 ネットワーク用OPAC 開放
12. 1996. 4. 1 閲覧システム 稼働
13. 1996. 4. 16 学術情報センターILLシステム 参加
14. 1996. 7. 1 新着図書案内 開始
15. 1997. 7. 1 雑誌管理システム 一部開始
16. 1998. 4. 1 蔵書点検システム 開始
17. 1998. 4. 1 図書管理システム 導入
18. 1999. 10. 14  
-15 新業務サーバー データコンバートテスト
19. 1999. 11. 1 新業務サーバー 稼働
20. 2000. 1. 1 WebOPAC 稼働
21. 2000. 3. 27 図書館ホームページ 開設
22. 2000. 4. 5 WebOPAC用PC端末 3台 設置
23. 2000. 6. 22 図書館ネットワーク用代理サーバー 移設
24. 2001. 11. 1 WebOPAC用PC端末 3台 設置
25. 2002. 6. 1 WebOPAC用PC端末 5台 設置
26. 2002. 11. 5 情報コンセント 30口 設置
27. 2003. 6. 24 WebOPAC用PC端末 2台 設置
28. 2004. 3. 25 情報コンセント 4口・無線LAN AP 設置
29. 2004. 8. 16 新業務サーバ 稼働  
CATP-CASE3システム 稼働  
WebOPAC用PC端末 5台 設置  
VTSS接続 廃止  
LAT 廃止
30. 2004. 10. 28 CD/DVD-ROMサーバ サービス開始
31. 2005. 1. 8 利用状況照会サービス 開始
32. 2005. 12. 21 CD-ROM検索端末 2台 置き換え
33. 2006. 1. 10 WebOPAC用PC端末 3台 置き換え

- 34. 2006. 7. 11 WebOPAC用PC端末 2台 置き換え
- 35. 2006. 8. 17 図書館LANの独立
- 36. 2006. 9. 20 CASE3 AVシステム 開始
- 37. 2007. 4. 1 WebOPAC AVシステム対応 サービス開始
- 38. 2007. 6. 11 情報アクセス端末 10台 設置
- 39. 2007. 9. 25 3号館雑誌室・書庫 開室
- 40. 2008. 6. 5 情報アクセス端末 10台 増設
- 41. 2009. 4. 1 AV用OPAC→WebOPAC用端末 5台 置き換え
- 42. 2010. 8. 16 図書館システムをNEC E-Cats Libraryに変更  
WebOPAC用PC端末 12台 置き換え  
自動貸出装置 1台 設置
- 43. 2010. 9. 24 MNC管轄の学習用PC 15台 設置  
MNC管轄のオンデマンドプリンタ 1台 設置
- 44. 2012. 8. 16 次世代OPAC 稼働
- 45. 2012. 8. 31 WebOPAC用PC端末 5台 廃止
- 46. 2012. 10. 19 成城大学リポジトリ 公開
- 47. 2013. 3. 18 情報アクセス端末 20台 廃止
- 48. 2013. 3. 25 MNC管轄の学習用PC 35台 設置 (+15台 置き換え)
- 49. 2013. 9. 14 NewspaperDirect専用モニター 稼働
- 50. 2013. 9. 21 自動PC貸出ロッカー 稼働 (MNC管轄の学習用PC 20台)
- 51. 2013. 9. 21 NECブレインボード (タッチパネル内蔵モニター) 4台 稼働

## (2) 現状

### 1. 入力蔵書データ数 (2014年3月31日現在)

和書	473,857冊	洋書	303,312冊	計	777,169冊
和雑誌	183,539冊	洋雑誌	86,118冊	計	269,657冊
和AV	31,434点	洋AV	38,679点	計	70,113点

※除籍資料等のデータを含む

### 2. 接続端末等

- a. 利用者用端末数 OPAC用 17, CD-ROM用 2, CD-ROM用プリンター 1  
NewspaperDirect用 1, サイネージ用 1
- b. 業務用端末数 スタッフ用 39  
カウンター用 7  
作業用 3 (研究室貸出・4F・B3F)  
ノート 5
- c. その他 プリンター 8 複合機 2, 無線LAN AP 4
- d. MNC管轄 学習用PC 70, オンデマンドプリンタ 1, 情報コンセント 34
- e. 3号館雑誌室・書庫  
業務用PC 4, 利用者用PC 3, 複合機 2, プリンター 1  
MNC管轄 学習用PC 8, オンデマンドプリンタ 1

## 8 図書館施設概要

### 図書館

竣工	1989年8月		
構造	鉄筋コンクリート造 地上5階 地下3階 塔屋1階		
建築面積	1,088.16 m <sup>2</sup>		
延床面積	6,525.79 m <sup>2</sup>		
塔屋	5.17 m <sup>2</sup>		
5 F	140.00 m <sup>2</sup>	機械室	
4 F	648.36 m <sup>2</sup>	事務室 館長室 会議室 ワークルーム スタッフルーム	
3 F	877.38 m <sup>2</sup>	開架閲覧室 共同研究室 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室	
2 F	903.81 m <sup>2</sup>	開架閲覧室 共同研究室 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室	
1 F	986.95 m <sup>2</sup>	メインカウンター レファレンスカウンター コピー室 参考図書コーナー 新刊雑誌コーナー 新聞コーナー 目録コーナー 検索端末コーナー ワークルーム	
B1F	799.84 m <sup>2</sup>	開架閲覧室 グループ学習室 製本準備室 コピーコーナー AVマイクロ保存室	
B2F	1,067.98 m <sup>2</sup>	開架閲覧室 貴重書室 AVマイクロ資料室 AVカウンター AVゾーン AVルーム AVホール	
B3F	1,096.30 m <sup>2</sup>	保存書庫 機械室 電気室	
収蔵能力合計	672,000冊	(開架 286,000冊 閉架 386,000冊) 2001、2002年度に開架各6,000冊分を増設	
閲覧座席数	524席	2001、2002年度に各10席分を増設	
AVホール	90席		

### 大学4号館 (旧図書館)

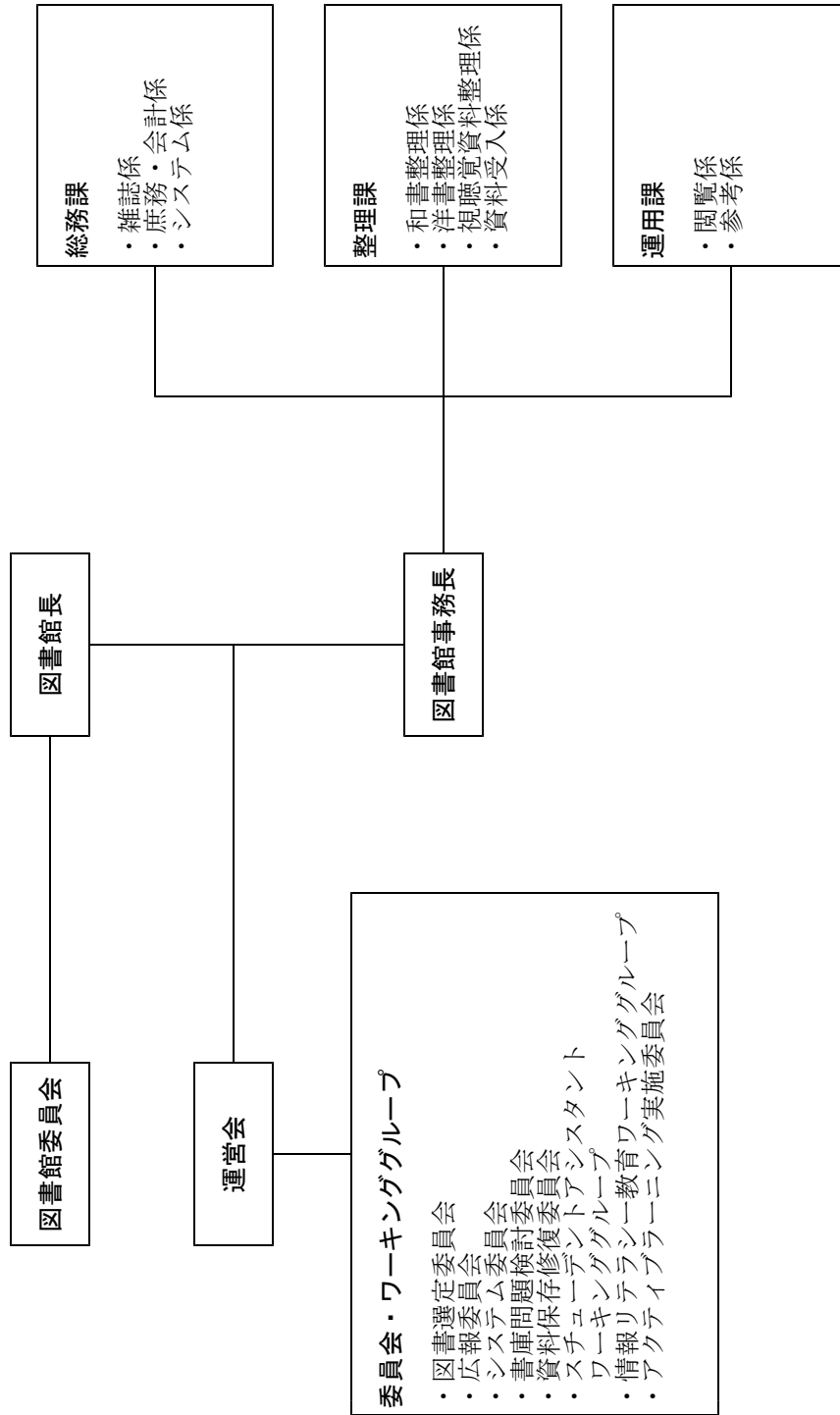
竣工	1968年8月		
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階 積層書庫6層		
1989年11月より学内他部局と共用			
図書館使用部分	書庫6層	79.38 m <sup>2</sup>	書庫5層 79.38 m <sup>2</sup>
	書庫3層	158.76 m <sup>2</sup>	書庫1層 158.76 m <sup>2</sup>
	1F 荷解室	38.88 m <sup>2</sup>	1F 保存室 48.60 m <sup>2</sup>
	書庫部分の収蔵能力合計 120,000冊		

### 3号館雑誌室および書庫

竣工	2007年9月		
構造	鉄筋コンクリート造 地上8階 地下1階		
図書館使用部分	雑誌室 (3F)	191.24 m <sup>2</sup>	
	書庫 (B1F)	325.66 m <sup>2</sup> (2層分計)	
	(2013. 4. 1)		

## IV 組織

### 1 組織図





## 2 図書館職員一覧

## V トピック

### アクティブラーニング施設の新設

#### 1. 施設導入までの経緯

2012年10月に成城学園第2世紀プラン教育研究改革特別事業枠予算の募集があり、図書館運営会にて作成した「学習支援を目的とした図書館アクティブラーニング施設の改修事業」の申請を行った。

この予算申請が認められることとなり、12月13日に改修事業の詳細な検討及び導入を実施するために「アクティブラーニング実施委員会」が発足した。メンバーは館内の正職員8名である。

発足時点では、基本的な事業計画と予算の上限は決まっていたが、施工業者が決まっていなかった。そのため委員会では、改修計画を再検討して要件定義書を作成し、2013年1月18日に2社に対してプレゼンテーションと企画書及び見積もりの提出を依頼、2月1日のプレゼンテーションの実施後、最終的に2月7日に施工業者を丸善に決定した。

決定後、業者との打合せを重ねていく中で、工事の期間が約4週間かかることと、部材調達の時間がかかることを理由に、当初予定していた2013年4月稼働を断念し、サービスインを後期開講日に変更した。

工事開始までは、業者との合同打合せを含めて、ほぼ毎週委員会が開催され、委員会としては16回開催された。その他に、業者との個別打合せや、什器やICT機器の見学も行った。

工事は学園の夏期一斉休暇の開始日である8月10日より行われた。図書館は、通常夏期一斉休暇期間の1週間が閉館だが、工事のためにさらに1週間閉館した。閉館期間中は、コンクリート壁を壊してガラス間仕切りを設置する、ペンキを塗る等の音や臭いが発生する作業を中心に行った。

その後は開館しながら工事を継続し、実質9月13日に工事が終了し、後期開講日である2013年9月21日よりサービスを開始した。

#### 2. 改修内容について

改修箇所は以下の通りである。

- ・アクティブラーニングエリアの新設 (1F)
  - ・新刊雑誌コーナーの移転 (1F)
  - ・グループ学習室の改修 (B1F)
  - ・プレゼンテーションルームの新設 (2F・3F)
  - ・休憩室の改修 (2F・3F)
  - ・3号館雑誌室の改修
- 
- ・アクティブラーニングエリアの新設 (1F)
- 図書館の入口を入ったすぐ左側、旧新刊雑誌コーナーに、アクティブラーニングエリアを新設した。
- このエリアは、少人数のグループで議論をしながら利用することを目的としており、そのため、可動式の勾玉形テーブル10台とイス30脚を配置して、人数に応じて組み替えが可能となっている。また、可動式のホワイトボードを設置することにより、書き込みをすることに

よる積極的な議論と、周りのテーブルからの目隠し効果を狙っている。エリアの境はガラス間仕切りを採用して、エリア内で他の利用者がどのように学習しているのかを見ること・見られることによって、学びの相乗効果を期待している。

このエリアは、議論をしながら利用しているスペースではあるが、館内が全館空調のため、ここだけ閉め切ることができなかった。そのため、前述のガラス間仕切りと目隠しの壁を組み合わせることにより、音が抜けにくく、空気が通り抜ける設計となっている。

また、配色に関しても、床を赤と黒のカーペットを組み合わせたり、間仕切りの枠を黒にすることにより、今までの白を基調とした館内の配色とは一線を画しており、利用者が一歩踏み込むだけで、今までの図書館施設とは何かが違うことを感じさせるデザインとなっている。



アクティブラーニングエリア

ICT機器として、講演等で利用することができるように、NEC製の60インチのタッチパネル内蔵ディスプレイを設置した。当初はプロジェクター用のスクリーンを設置する予定だったが、建物の構造上、プロジェクターの常設が難しかったことと、利用していない時にデジタルサイネージとして運用できることを考慮して、ディスプレイの導入を行った。

また、本学メディアネットワークセンター所管のノートパソコンである学習用PC 20台を収納できる、日本コントロール社製の自動PC貸出ロッカーを設置した。学習用PCを館内貸出するというコンセプトは当初より盛り込まれていたが、メインカウンターでパソコンを出納するには、場所が狭いことと手続きが煩雑になるため、自動PC貸出ロッカーの導入を行った。

自動PC貸出ロッカーには、以下の3つの新機能を搭載した。

- ・ABCプロトコルによる認証
- ・充電検知機能
- ・優先貸出機能

従来の貸出ロッカーでは、利用者情報をあらかじめロッカー内に持たせておく運用が通例だが、自動貸出機で用いられる、ABCプロトコルを使って図書館システムで認証を行うことにより、リアルタイムでの認証が行える。

本館では、パソコンの貸出を行う際に本体だけの貸出を行い、ACアダプター等の付属品の貸出を行わない運用とした。そのため、パソコンの返却時には、ACアダプタをパソコンにさして充電をしながら収納する必要がある。そこで、利用者がACアダプタをささずに収納した際に、それがわかる機能を搭載した。また、利用者に貸出を行う際に、理論上、最も充電されていると思われるパソコンの貸出を行う、優先貸出機能も同時に搭載した。



自動PC貸出ロッカー

#### ・新刊雑誌コーナーの移転（1F）

アクティブラーニングエリアを新設するために、新刊雑誌コーナーの移転が必要となった。当初はB1Fとの意見もあったが、図書館設立時の新刊雑誌コーナーの位置づけが「明るい雰囲気のある場所で気軽に雑誌を手にとれるスペース」であることを考慮して、1Fの吹き抜け下に、規模を若干縮小して、移転した。

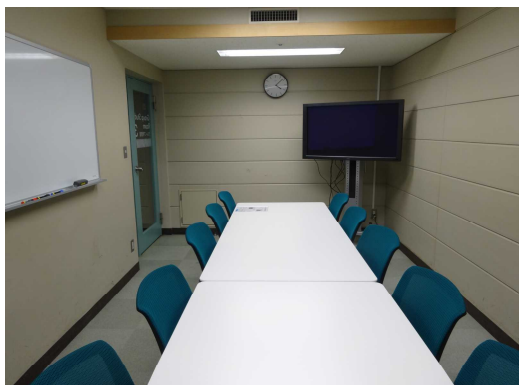
その際にソファも1基移転して、新刊雑誌だけではなく、新聞もくつろぎながら読むことができるようになった。



新刊雑誌コーナー

#### ・グループ学習室の改修（B1F）

従来より、グループワークを行う場として提供してきたが、今回は時代に合わせた改修とICT機器の導入を行った。



グループ学習室

まず、机とイスがキャスター付きのものに変更されて、グループワークに合わせた、室内のレイアウトの変更が容易になった。

ICT機器として、NEC製の46インチのタッチパネル内蔵ディスプレイが設置されている。これにより、学習用PCを接続して、大きな画面を見ながらディスカッションしたり、専用ソフトで表示している画面に書き込みを行い、その画面を保存することも可能となった。

ホワイトボードと併用して、積極的な議論が行えるように整備を行った。

#### ・プレゼンテーションルームの新設（2F・3F）

2F・3Fの旧共同研究室の改修を行い、プレゼンテーションルームを新設した。グループ学習室が議論をしながら成果物を作っていくためのエリアに対して、プレゼンテーションルームはプレゼンテーションや発表の練習が出来るエリアという位置づけである。

2Fのプレゼンテーションルームは、アクティブラーニングエリア同様にガラス間仕切りを採用して、見ること・見られることによる学びの相乗効果を期待しており、可動式の机は今回の改修の中で最も細かい単位で移動ができる。

ICT機器としては、EPSON製の超短焦点プロジェクタが設置されていて、専用ソフトで表示している画面に書き込みを行い、その画面を保存することが可能である。

また、学部生も利用できるように規則改正を行い、積極的な学びの場として位置づけた。



プレゼンテーションルーム

#### ・休憩室の改修（2F・3F）

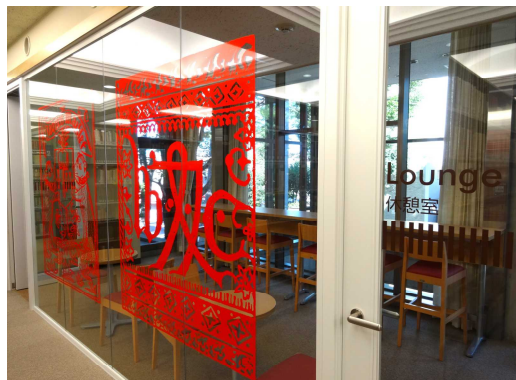
図書館に長く滞在できることを目的として、休憩室をリニューアルした。

それまでは、閲覧室とは壁画が描かれたコンクリートの壁で隔てられていたため、そこに休憩室があることがわかりにくく、中の様子を伺うことも困難であった。

そこで、閲覧室側の壁をガラス間仕切りにして、そこに既存の壁画を転写することによって新旧を取り混ぜた、新たな空間を生成した。休憩室の外側はガラス窓になっているため、館内から直接館外の緑を垣間見ることができ、明るさと広がりを感じる効果を演出した。

また、外側に面してハイテーブルを設置することによって、外の景色を楽しみながらリフレッシュできる効果を期待している。

休憩室での飲食の可否についても議論になったが、閲覧室に近すぎることで、水回り等を設置することが困難なため、見送りとなった。



休憩室

#### ・3号館雑誌室の改修



3号館雑誌室

3号館雑誌室の閲覧室の一部をアクティブラーニングのスペースとして使えるように、レイアウト変更が容易に行える机とイスに変更した。

また、可動式のホワイトボードは本館のものとは違い、机との一体感が出るデザインのものを採用した。

加えて、池側に面して増設した学習用PC用の什器も新しいものに置き換えた。

### 3. 導入後の評価

アクティブラーニングエリアは、サービス開始時から学生が積極的に利用し、午後の時間帯は常に机がうまっている状態である。他校の事例では、単に場所を用意しても利用者が集まらないとのことから、当初は開講時間帯にイベントをいくつか企画したが、イベントをやることによって本来の利用者が使いにくくなってしまったという事案が発生した。

また、可動式のホワイトボードも積極的に利用され、活発な話し合いが行われている場面を見ると、こういった施設の潜在的な需要があったことがわかった。

盛況な理由としては、席数が30と若干少なめなことと、図書館の入口を入ったすぐにある施設であること、さらに自動PC貸出ロッカーでノートパソコンを借りてすぐに使える場所である等が挙げられる。

自動PC貸出ロッカーについても予想以上の利用状況で、当初は繁忙期に1日最大で80回程度の貸出を見込んでいたが、1日140回の貸出が行われた日もあった。

理由としては、前述の通り、ACアダプタを貸さない運用をしているため、パソコンのバッテリーが切れるとパソコンを返却して、次のパソコンを借りていくという行動が見られた。しかしながら、パソコンの絶対数が少ないため、十分な充電が行われないうちに次の利用者が借りていくため、常にバッテリー切れの状態になり、貸出回数だけが増えていくということが判明した。

これに対しては、メーカーと調整を行い、返却後一定時間再貸出できないようにする改修を行う予定である（2014年8月に実装）。

グループ学習室のディスプレイとプレゼンテーションルームのプロジェクトについては、どちらも画面で書き込みができるということで、興味は引いているようである。ただ、それぞれ使い勝手に癖があるため、パソコンを接続はするものの、インタラクティブな利用の頻度はそれほど高くないと思われる。

休憩室は、ガラス間仕切りにしたおかげで、周囲が明るくなったことと、ここに休憩室があることをアピールできるようになった。2Fと3Fには申し込みしないでグループワークが出来るエリアが無いため、休憩室でアカデミックディスカッションをしている場面も見受けられる。

入館者数は、前年に比べて増加しており、今回の改修はある程度成功したと思われる。

3号館雑誌室も入室者が増加し、前年比で2倍以上の月もある。こちらは施設改修だけでは無く、学習用PCの利用者が増加したためと思われる。

#### 4. おわりに

今回の改修は、将来起こり得るだろう旧図書館（4号館）の建て直または改修の際にラーニングコモنزのような施設を開設するパイロットプランとも言える。

そこでいくつかの所見を記しておく。

##### ①パソコンの台数と取扱い

従来の利用者用のパソコンは机に設置されている場合が多かったが、ノートパソコンを自分の好きな場所で使うというスタイルは利用者の評判がよい。

管理や充電方法、電源の確保にはいくつかの課題が残るが、技術的な要件を含めて、今後とも拡大していくと思われる。

##### ②静粛エリアの設置

①の話の逆になるが、ノートパソコンを館内で自由に使えるために、結果的に、館内のどこでも無線LANにアクセスできるようになった。そのため、静かに学修をしたいという、従来からある図書館の需要を満たせなくなった。

幸い現在は、利用者が「図書館は静かに使うところだ」という意識もあるため、全体的な静粛性は保たれていると思われるが、今後は能動的な学修エリアと静粛エリアのゾーニングが必須になると思われる。

##### ③サポートスタッフの問題

今回の改修は、限られた範囲での施設改修であったが、それでも新たな業務は発生している。もし、ラーニングコモنزを設置する場合には、利用者をサポートするための要員が必須となるであろう。

そのため、どのようなスタッフ（職員・学生・外注）で構成するのかと、それに伴う業務責任やセキュリティを考慮した事務室等の切り分けを考えて設計する必要があると思われる。

（総務課 職員）

## 歴代図書館長

1	中野 三郎 (成城大学)	1953年4月	～	1955年3月
2	池田 勉 (文芸学部)	1955年4月	～	1965年3月
3	岡田 俊平 (経済学部)	1965年4月	～	1971年3月
4	宮崎 孝一 (文芸学部)	1971年4月	～	1975年3月
5	上野 格 (経済学部)	1975年4月	～	1979年3月
6	石川 弘義 (文芸学部)	1979年4月	～	1983年3月
7	安田 一郎 (法学部)	1983年4月	～	1987年3月
8	横川 新 (法学部)	1987年4月	～	1991年3月
9	木綿 良行 (経済学部)	1991年4月	～	1995年3月
10	毛利 三彌 (文芸学部)	1995年4月	～	1997年3月
11	木村周市朗 (経済学部)	1997年4月	～	2001年3月
12	新山 一雄 (法学部)	2001年4月	～	2005年3月
13	浅井 良夫 (経済学部)	2005年4月	～	2009年3月
14	福光 寛 (経済学部)	2009年4月	～	2011年3月
15	木畑 洋一 (法学部)	2011年4月	～	

### 略史

1926年	4月	成城高等学校 創設
1927年	4月	成城高等女学校 創設
1928年	12月	「澤柳記念図書館」 竣工
1950年	4月	成城大学経済学部 成城大学理学部 開設
1953年	3月	成城大学理学部 廃止
1953年	11月	「成城学園中央図書館」と改称
1954年	4月	成城大学文芸学部 成城大学短期大学部 開設
1957年	4月	旧図書館 (旧柳田文庫) 増改築 「成城大学図書館」と改称
1968年	8月	旧図書館 (大学4号館) 竣工
	9月	開館
1977年	4月	成城大学法学部 開設
1989年	8月	新図書館 竣工
	11月	開館
2005年	4月	成城大学社会イノベーション学部 開設
2007年	9月	3号館雑誌室および書庫 開設
2013年	9月	アクティブ・ラーニング施設 新設

成城大学図書館年報 第15号

2013年度図書館業務報告

2015年3月1日発行

編集・発行 成城大学図書館

〒 157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

電話 03-3482-3555 (ダイヤルイン)

URL <http://www.seijo-lib.jp/>